

# 令和6年6月記者懇談会

日時 令和6年6月27日(木)

午前10時30分

場所 政策会議室

(幹事社 中日)

## 1 市長あいさつ

## 2 市政記者クラブからの質問事項

(1) 市制20周年記念事業等について (東愛知新聞)

(2) 観光行政について (中日新聞)

## 3 市からの発表事項

(1) 市長マニフェスト取組状況報告について (企画調整課)

(2) 令和7年度導入新城市中学校新制服決定について (学校教育課)

## 4 その他 資料提供

(1) 令和6年6月期期末・勤勉手当支給状況について (秘書人事課)

(2) 新城市制20周年記念 ロゴマーク・キャッチフレーズ募集について  
(秘書人事課)

(3) 元新城東高等学校用地活用に関するサウンディング型市場調査の実施  
結果の公表について (総合政策課)

(4) 高速乗合バス「山の湊号」夏得キャンペーンについて (公共交通対策課)

(5) 豊橋新城スマートIC(仮称)周辺地域活性化構想(案)のパブリック  
コメントの実施結果について  
(土木課 道路政策推進室)

## 5 7月市長行事予定

次回開催日：7月25日(木) 午前10時30分



令和6年6月27日

## 市長マニフェスト取組状況報告書について

市長マニフェスト「人口減少と少子高齢化の現実には負けないまちに」において掲げられた5つの目標と36の提案を着実に推進するため、令和5年度の目標に対する実績値や実施した取組内容について別添のとおり作成しました。

(進捗状況一覧)

	令和5年度	
	上期	下期
順調	9	16
ほぼ順調	22	14
やや遅延	3	5
遅延	2	0
達成困難	0	0
業務見直し	0	1

### 【問合せ先】

企画部企画調整課 課長：松井 担当：山本

電話：0536-23-7620

FAX：0536-23-2002

Eメール：kikaku@city.shinshiro.lg.jp

# 市長マニフェスト取組状況報告書

新城市の10年後に責任を持つ！

## 「人口減少と少子高齢化の現実に負けないまちに」

今から10年前（2011年）約5万人だった新城市の人口は、10年後（2031年）約3万9千人に、人口の59%だった生産年齢人口は48%に、28%だった高齢化率は42%になると推計されています。10年後に訪れる困難な現実を乗り越えるためには、これまで以上に各世代間の支え合い助け合いにより地域の絆を強め、市民の心と力を一つに結集しなければなりません。

行政が果たすべきことは、10年後の現実に今からしっかりと向き合う準備を重ね、将来に責任を持つ行財政運営で、市民の将来不安を取り除き、市民がふるさと新城で暮らす誇りと安心を実感できるまちにすることです。

人口減少と少子高齢化に負けないまちにするために、5つの目標と36の提案を実施していきます。

市長マニフェストより

令和6年6月27日  
新城市長 下江洋行

市長マニフェスト取組状況報告書（令和6年4月1日現在）

5つの目標と36の提案		進捗状況							
		4年度		5年度		6年度		7年度	
		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
<b>1 将来に責任を持つ行政改革【地域住民とのつながりを大切にしている職員集団による行政改革】</b>	頁								
① 市長給与20%削減します	1	順調	順調	順調	順調				
② 地域に出向き、市民の声を聴きます	3	順調	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調				
③ 書類手続きで心配無用の窓口対応を行います	5	やや遅延	順調	ほぼ順調	順調				
④ 職員からの業務改善提案を募集します	7	やや遅延	順調	ほぼ順調	順調				
⑤ 地域や住民とのつながりを大切にしている職員を育成します	9	遅延	遅延	やや遅延	やや遅延				
⑥ 歳出の抑制と市債の削減に取り組み、基金を積み増します	11	ほぼ順調	ほぼ順調	遅延	やや遅延				
⑦ デジタル化を推進します	13	ほぼ順調	やや遅延	ほぼ順調	順調				
<b>2 安心して暮らし続けられるまち【日々の生活の安心と、将来不安を取り除くことを最優先】</b>									
① 後期高齢者のSバス利用を無償化します	15	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調				
② 健康体操など健康づくり活動を支援します	17	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調				
③ 市民病院の診療体制の維持と充実をはかります	19	やや遅延	やや遅延	やや遅延	ほぼ順調				
④ 住民の健康管理・遠隔診療・リハビリ等の取り組みを定着させます	21	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調				
⑤ 買い物支援策の充実をはかります	23	やや遅延	やや遅延	ほぼ順調	順調				
⑥ 外国籍の方に優しい多文化共生のまちにします	25	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調	やや遅延				
⑦ 女性の活躍推進につながる働き方改革や子育て支援策の充実をはかります	27	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調				
⑧ 障がい者、高齢者、認知症の方への支援を充実します	29	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調	順調				
<b>3 市民の安全を守るまち【防災・防犯・交通安全対策で、市民の生命と財産を守る】</b>									
① 感染症対策を考慮し、災害時における避難マニュアルを再度見直します	31	ほぼ順調	順調	順調	順調				
② 集中豪雨による洪水害予防の対策を強化します	33	順調	順調	順調	順調				
③ 防災情報の的確な伝達と避難時の支援強化をはかります	35	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調				
④ 再生可能エネルギーによる自給自足電源で、災害に強いまちを創ります	37	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調	やや遅延				
⑤ ゴミのポイ捨てや不法投棄対策を強化します	39	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調				
⑥ 防犯カメラの設置支援や、青パト隊等の防犯活動を拡充します	41	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調	順調				
<b>4 次世代が夢と希望を持てるまち【教育・子育て支援を充実させ、次世代の郷土愛を育む】</b>									
① 小中学校の少人数学級を進めます	43	ほぼ順調	ほぼ順調	順調	順調				
② 学校給食費の負担軽減と無償化への取り組みを進めます	45	ほぼ順調	やや遅延	ほぼ順調	ほぼ順調				
③ 外国籍児童生徒への日本語教育を支援します	47	ほぼ順調	ほぼ順調	順調	順調				
④ 障がい児教育や療育の充実のため、専門家会議設置の必要性を精査します	49	遅延	ほぼ順調	ほぼ順調	順調				
⑤ 高等教育機関への進学を目指す生徒に対する奨学金制度の導入に取り組みます	51	ほぼ順調	やや遅延	遅延	業務見直し				
⑥ 新城版GIGAスクール構想の実現に向けて取り組みます	53	やや遅延	遅延	順調	順調				
⑦ 若者の就職支援に力を入れます	55	ほぼ順調	順調	順調	順調				
<b>5 人が集まる元気なまち【地域資源を最大限生かし、まちの活力につなげる】</b>									
① 林業従事者の定着促進と育成に取り組みます	57	順調	順調	ほぼ順調	順調				
② 新たな高収益作物の生産に向けた研究をします	59	ほぼ順調	ほぼ順調	やや遅延	やや遅延				
③ 地域資源を生かした新城ツーリズム（食・自然・歴史・スポーツ・健康・温泉）を推進します	61	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調				
④ 中山間地における企業のテレワークやワーケーションを誘致します	63	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調				
⑤ 発注や契約において地元事業者を優先します	65	順調	順調	順調	順調				
⑥ スマートインターチェンジの早期供用と周辺地域の振興策に取り組みます	67	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調				
⑦ 八束穂の事業用地利用計画の道筋を示します	69	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調	ほぼ順調				
⑧ 再生可能エネルギーの普及を推進し、エネルギーの地産地消を進めます	71	順調	順調	順調	ほぼ順調				

	4年度		5年度		6年度		7年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
順調	6	9	9	16	0	0	0	0
ほぼ順調	23	20	22	14	0	0	0	0
やや遅延	5	5	3	5	0	0	0	0
遅延	2	2	2	0	0	0	0	0
達成困難	0	0	0	0	0	0	0	0
業務見直し	0	0	0	1	0	0	0	0

市長マニフェスト 取組状況報告書

目標	1	将来に責任を持つ行財政改革 【地域住民とのつながりを大切にする職員集団による行財政改革】			
提案	1	市長給与20%削減します			
具体的な政策内容	市長の行財政改革への意思を明確にするため、任期4年間20%削減を約束します。				
担当課	秘書人事課	SDGs			
評価指標 (KPI)	市長給与及び期末手当の20%削減				
当初現状値	月額 925,000円				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値		20%削減	20%削減	20%削減	20%削減
実績値		20%削減	20%削減	—	—
実施内容	新城市長の給与の特例に関する条例の改正	計画			
		実績			
	市長給与及び期末手当の20%削減の継続実施	計画			
		実績			
		計画			
		実績			
		計画			
		実績			
	計画				
	実績				
実施内容に対応する具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条例改正を行い、令和4年1月から市長給与の20%削減の実施及び継続実施している。</li> <li>・ 令和4年度において、市長給与及び期末手当の20%削減に取り組む。</li> <li>・ 市長自らが財源を生み出すことにより、市民がふるさと新城で暮らす誇りと安心を実感できる事業に支出する。</li> </ul>				

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度 【公約達成】	上半期	順調	【給料月額】 $925,000円 \times 20\% \times 6月 = 1,110,000円$ ① 【6月期末手当】 $(925,000円 + 416,250円) \times 1.625 \times 20\% = 435,906円$ ② ①+②=1,545,906円を減額
	下半期	順調	【給料月額】 $925,000円 \times 20\% \times 6月 = 1,110,000円$ ① 【12月期末手当】 $(925,000円 + 416,250円) \times 1.675 \times 20\% = 449,318円$ ② ①+②=1,559,318円を減額
令和5年度 【公約達成】	上半期	順調	【給料月額】 $925,000円 \times 20\% \times 6月 = 1,110,000円$ ① 【6月期末手当】 $(925,000円 + 416,250円) \times 1.65 \times 20\% = 442,612円$ ② ①+②=1,552,612円を減額
	下半期	順調	【給料月額】 $925,000円 \times 20\% \times 6月 = 1,110,000円$ ① 【12月期末手当】 $(925,000円 + 416,250円) \times 1.75 \times 20\% = 469,437円$ ② ①+②=1,579,437円を減額
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

市長マニフェスト 取組状況報告書

目標	1	将来に責任を持つ行財政改革 【地域住民とのつながりを大切にする職員集団による行財政改革】			
提案	2	地域に出向き、市民の声を聴きます			
具体的な政策内容	市長自らが地域に出向き、市民の不安や行政に求めていることを直接聞く機会をつくりまします。				
担当課	秘書人事課	SDG s			
評価指標 (KPI)	ふれあいトークの実施回数				
当初現状値	1回				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値		10回	10回	11回	12回
実績値		8回	9回	—	—
実施内容	市民の声を聴く日の制度検討	計画			
		実績			
	ふれあいトーク実施	計画			
		実績			
		計画			
		実績			
		計画			
		実績			
	計画				
	実績				
実施内容に対応する具体的な内容	<p>市長が地域へ出向いたり、本庁および各総合支所で、市民の皆さんと直接の対話を通じ課題を共有し市民の声を収集したり、市民の市政参画の機会とする対話活動。</p> <p>開催時期：議会定例会開催月と年末年始を除き、年間を通じ開催。</p> <p>実施方法：随時開催および定例開催。</p> <p>随時開催 ①団体からの申込に併せ市長が訪問（応募型） ②市から地域活動団体へ市長訪問の依頼（呼び掛け型）</p> <p>定例開催 あらかじめ決められた日時・会場へ市民にお越しいただく。 (R6:市役所および各総合支所)</p> <p>開催時間：午前9時30分から午後8時の間の90分程度</p> <p>対話活動を通じ地域の課題をもとに全庁、自治振興事務所と情報を共有し、課題解決に向けた活動を行っていく。</p>				

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	順調	令和4年9月末時点で、市内7地区でふれあいトークを実施。市長と会場にお越しの市民が直接対話を行い、市政に対する率直な意見、地域課題をお聴きした。収集した意見は、全庁、自治振興事務所と情報共有を図っている。
	下半期	ほぼ順調	市内、全8地区でふれあいトークを実施。市長と会場に見えた市民が直接対話を行い、市政に対する率直な意見、地域課題を収集。収集した内容は、全庁で課題解決に向け共有を図るとともに、地域自治区が建議をする際の参考とした。
令和5年度	上半期	ほぼ順調	令和5年9月末現在、市内4団体とふれあいトークを実施。読み聞かせグループや子育て世代の市民の方、新城にお住まいの外国人在住者の方、設楽原鉄砲隊と実施。日頃感じている市政に対するご意見や提案をいただいた。収集した意見は関係課につなげると共に全庁で共有をしている。
	下半期	ほぼ順調	市内9団体（はぐるまの会（福祉ボランティア）他）とふれあいトークを実施。それぞれの地域や団体において、市民の皆さんが日頃感じていることや行政への提案、御意見を直接伺うことで地域課題を収集・共有した。また、市の現状や市長の考えを伝えることで対話団体とのお互いの理解を深める事につなげている。意見交換した内容については、関係課につなげるとともに庁内で共有をしている。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

# 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	1	将来に責任を持つ行財政改革 【地域住民とのつながりを大切にする職員集団による行財政改革】				
提案	3	書類手続きで心配無用の窓口対応を行います				
具体的な政策内容	市役所での書類手続きについて、職員が懇切丁寧に対応する窓口対応を実施します。					
担当課	行政課・秘書人事課・情報政策課	SDG s				
評価指標 (KPI)	①『さわやかマナーしんしろ』等のマニュアルの内容の充実と職員への周知 ②研修受講率 ③接客研修講師養成講座に職員を派遣し、受講後に職員研修講師として登壇する。					
当初現状値	随時実施している。					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	①	検討、実施	検討、実施	検討、実施	検討、実施	
	②		90%以上	95%以上	95%以上	
	③		1回	1回	1回	
	④					
実績値	①	検討、実施	—	—	—	
	②		92.6%			
	③	1回	1回			
	④					
実施内容	①業務マニュアルの内容充実と職員への周知	計画				
		実績				
	②接客研修の実施	計画	●	● ● ●	●	●
		実績		● ●		
	③接客研修講師養成講座への派遣	計画		●	●	●
		実績	●	●		
		計画				
		実績				
	計画					
	実績					
実施内容に対応する具体的な内容	・接客研修の開催 基礎研修の一つとして、接客研修を年1回開催する。また、接客研修の実施に際しては民間企業から直接講師を招聘又は民間企業での実務経験を有する講師を招聘し、民間企業における最新の取り組みやノウハウを研修内容に盛り込み、民間企業と同水準の接客能力を持つ職員の養成に取り組む。 また、接客講師を養成する研修に毎年1名派遣し、より高度な接客技術を身に付け、職員研修の講師として登壇できる職員を育成していく。 ・全職員が目に見える窓口用チェックリストやマニュアル等を整備し、業務に活用してもらうことで丁寧な接客を目指す。					

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	やや遅延	実施時期を9月から2月頃に変更。(秘書人事課) 職員全員が市の業務を案内できるように、業務マニュアル(職員コンシェルジュ化マニュアル)を配布。(行政課)
	下半期	順調	新型コロナウイルスの感染拡大が収束せず、対面研修実施時期の調整に時間を要したため、研修の実施時期を令和5年6月と9月に変更した。(秘書人事課) 窓口業務チェックリストや業務マニュアルを次年度に向けて見直し、内容の充実を図った。(行政課)
令和5年度	上半期	ほぼ順調	令和5年6月と9月に「民間の力から学ぶ研修」として愛知銀行から講師を招き、主事級職員を対象に接客研修を実施した。(秘書人事課) 全職員が基本的な接客対応ができるようにするため、窓口業務チェックリスト及び業務マニュアル(職員コンシェルジュ化マニュアル)の内容を見直し、配付した。(行政課)
	下半期	順調	令和6年1月に職員1名を接客研修指導者養成研修に派遣し、接客講師の養成を実施した。また、令和6年3月実施の新規採用職員説明会に接客講師として登壇した。(秘書人事課) 転入転出に係る窓口業務チェックリスト、各課等業務案内パイプ及び業務手順書の内容更新と、これらの業務への活用を周知した。(行政課)。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

# 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	1	将来に責任を持つ行財政改革 【地域住民とのつながりを大切にする職員集団による行財政改革】			
提案	4	職員からの業務改善提案を募集します			
具体的な政策内容	業務の効率化や、市民福祉の向上につながる施策の提案を募集します。誰もが積極的に提案できる仕組みを作ります。				
担当課	行政課	SDGs			
評価指標 (KPI)	業務改善につながる職員提案件数				
当初現状値	4件（令和3年度KAEL運動の提案件数）				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値		—	8件	8件	8件
実績値		—	8件	—	—
実施内容	現行の業務改善運動の見直し	計画			
		実績			
	業務改善運動提案募集	計画			
		実績			
		計画			
		実績			
		計画			
		実績			
	計画				
	実績				
実施内容に対応する具体的な内容	<p>◎業務改善運動の見直しについて</p> <p>○現行制度（KAEL運動）の主な課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改善・提案件数の減少。</li> <li>・提案者及び提案を受ける課が、特定の職員及び特定の課への偏り。</li> <li>・提案を受ける課にとって業務が増えることとなり結果的に負担に繋がるが多い。</li> <li>・審査が実質年1回のため、結果判定までのタイムラグが生じる。</li> </ul> <p>○見直しの方向性：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務効率化、市民福祉の向上につながる提案を積極的にしやすくする制度とする。</li> <li>・提案方法、審査方法、事業実施後の評価方法の見直し。</li> <li>・職員への周知の徹底。</li> </ul>				

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	やや遅延	現行制度（KAEL運動）の改善点について、課内において検討を進めている。
	下半期	順調	全庁的業務改善・提案運動「KAEL運動」の内容を見直し、実施要領を改正した。あわせて、改正内容について職員へ周知した。
令和5年度	上半期	ほぼ順調	庁内会議やメールにより全職員へ募集の周知を行った。また、7月を強化月間と定め、積極的な提案を促した。 ※10月末現在の提案件数：5件
	下半期	順調	日常業務をこなす中で職員が気づきや改善を意識するきっかけづくりとして継続的な周知や啓発は一助になると考え、11月と12月（12月は強化月間）に再度の募集案内を行い、3月に提案審査の結果を全職員に周知した。 ※令和5年度の提案件数：全8件
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

市長マニフェスト 取組状況報告書

目標	1	将来に責任を持つ行財政改革 【地域住民とのつながりを大切にする職員集団による行財政改革】				
提案	5	地域や住民とのつながりを大切にする職員を育成します				
具体的な政策内容	地域自治区制度導入後、10年が経過しました。今一度原点に立ち返り、地域や住民とのつながりを大切にするよう職員の意識の醸成に努めます。					
担当課	秘書人事課・市民自治推進課	SDGs				
評価指標 (KPI)	①地域活動支援員登録数 ②研修実施回数					
当初現状値	①113人 ②0回					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	①	126人	140人	168人	196人	
	②	計画	1回	1回	1回	
実績値	①	111人	107人	—	—	
	②	1回	0回	—	—	
実施内容	人材育成計画の見直し	計画				
		実績				
	地域活動支援員制度の見直し	計画				
		実績				
	計画に基づく職員の育成	計画				
		実績				
	研修の開催	計画				
		実績				
		計画				
		実績				
	計画					
	実績					
	計画					
	実績					
実施内容に対応する具体的な内容	<p>○人材育成計画の見直し、地域活動支援員制度の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秘書人事課と市民自治推進課により人材育成計画と地域活動支援員制度の見直しを行う。</li> <li>・市役所職員の存在意義と地域の要望、個々職員の働きがいを重ね合わせ課題を把握し、「地域や住民とのつながりを大切にする」を根拠とした人材育成計画・地域支援員制度をつくる。</li> </ul> <p>○計画に基づく職員の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の地域活動支援員登録者数113人 消防、保育士等を除く職員400人のうち係長以下280人の70%の登録を目指す。</li> <li>・地域や住民とのつながりを大切にする人材育成を行い、ひいては職員誰もが地域自治区担当者として地域に根付いた活動を行い、仕事に対する価値観、地域との関わりの必要性の認識を高める。</li> </ul>					

実施年度		実績・実施した取組内容	
令和4年度	上半期	遅延	・人材育成基本方針の見直しに向けて、令和3年度に検討した地域活動支援員の見直しと整合を図る。また、基本方針に地域との繋がりを大切にする意識づくり、働き方改革、DX推進などを盛り込んだものとするため、現基本方針の改正部分の洗出しを下半期に行っていく。
	下半期	遅延	地域活動支援員制度の見直しを行うため、秘書人事課・市民自治推進課と合同で検討会議を開催した。第1回（R5.1.30）、第2回（R5.2.27）、第3回（R5.3.20）。人材育成基本方針の見直しについては、庁内各課から検討メンバーを選定し検討会議を開催した。第1回（R5.2.17）、第2回（R5.3.17）。
令和5年度	上半期	やや遅延	前年度に引き続き、秘書人事課・市民自治推進課と合同で地域活動支援制度見直しについての検討会議を開催した（R5.6.16）。人材育成基本方針の見直しについては、方針案の作成に時間を要しており事務が遅延している。
	下半期	やや遅延	前回の検討会の意見を基に、支援員設置要綱の改正案を提案し、令和6年度施行に向け秘書人事課と改正点について協議を行った。（R6.2.8）人材育成基本方針の見直しについては、令和5年12月22日に人材育成基本方針策定指針が改正され、当該指針を踏まえた改正が必要となったことから、方針案の作成事務が遅延している。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

## 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	1	将来に責任を持つ行財政改革 【地域住民とのつながりを大切にする職員集団による行財政改革】			
提案	6	歳出の抑制と市債の削減に取り組み、基金を積み増します			
具体的な政策内容	事業の見直しのもとに、歳出の抑制を図ります。財政調整基金（現在18億円）を積み増し、25億円を目標額とします。				
担当課	財政課	SDG s			
評価指標（KPI）	財政調整基金の現在高				
当初現状値	24.2億円【令和3年度末】				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値		24.6億円	25.2億円	25.2億円	25.2億円
実績値		27.5億円	21.6億円	—	—
実施内容	財政調整基金への積立	計画			
		実績			
	中期財政計画の策定	計画	● 12月		
		実績	● 3月		
	中期財政計画の見直し	計画		● 9月	
		実績		● 10月	
		計画			
		実績			
		計画			
		実績			
実施内容に対応する具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実質収支額のうち6億円を超える部分を翌年度に積み立てを実施する。</li> <li>・第2次新城市総合計画中期計画（R5～8）に合わせ中期財政計画をR4に策定し、各事業への適正な予算計上に努め、以後、毎年度見直しを実施する。</li> <li>また、令和4年度で計画期間が満了となる新城市財政健全化推進プランの取り組みの一部を中期財政計画に位置付け、引き続き歳入確保、歳出削減の取り組みを進める。</li> <li>・地方債の発行と返済のバランスをとるため、交付税措置以外の部分におけるプライマリーバランスの黒字確保（臨時財政対策債・合併特例債以外に適用）に努める。</li> </ul>				

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	9月補正にて財政運営ガイドラインの積立基準に基づき財政調整基金への積立金321,723千円を計上し、同額を基金に積み立てた。基金残高27.4億円。中期財政計画策定に向け令和5年度から8年度の事務事業に沿った歳入歳出見込額をとりまとめた。
	下半期	ほぼ順調	3月に中期財政計画を策定し、令和5年度から8年度までの財政推計を公表した。令和5年度予算編成でプライマリーバランスの黒字を確保。令和4年度末の財政調整基金残高2,751,530千円（決算書数値）。
令和5年度	上半期	遅延	令和4年度末には、積立額を目標額の25億円まで積み立てることができたが、令和5年度当初予算では歳入歳出の乖離を負担するために4億円強の取崩を予算化し、また繰越金はあるものの、令和5年6月の豪雨災害による災害復旧に係る補正予算等で予算ベース4億強の取崩を予算化、現在予算ベースで残高が1,789百万円の見込で、積み立てることが困難な状況である。
	下半期	やや遅延	上半期報告同様、6月豪雨の影響により予算ベースで最大8億5千9百万円余の繰入を予算化し、災害等の対応のため取崩を見込んだが、最終予算現額では他の歳入の大幅な増収が見込め、3億2千万円弱の取崩を取り止めることができた。結果、年度末現在高見込は21億6千万円余を予定しているが、昨年度末残高を比較し、6億円ほどの減少となる見込みである。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

# 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	1	将来に責任を持つ行財政改革 【地域住民とのつながりを大切にする職員集団による行財政改革】			
提案	7	デジタル化を推進します			
具体的な政策内容	行政のICT化とネットワーク化の推進により、福祉・医療・防災など様々な分野における市民生活利便性向上のためのサービスにつなげます。				
担当課	情報政策課	SDGs			
評価指標 (KPI)	①共有データ数 ②オンライン申請手続きの提供数 (累計) ③調査事例数				
当初現状値	①庁内共有開始 ②オンライン化未実施 ③事例調査未実施				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	①	17業務	17業務	17業務	17業務
	②	24手続き	29手続き	34手続き	39手続き
	③	9事例	9事例	9事例	9事例
実績値	①	18業務	19業務	—	—
	②	0手続き	30手続き	—	—
	③	12事例	5事例	—	—
実施内容	①統合型地図情報システムの稼働	計画	● 4月14日稼働	改修、データ更新	
		実績			
	②オンライン申請手続きの普及	計画	検討、導入、対象拡大		
		実績			
	③幅広い分野におけるDX推進に関する先進事例調査	計画	調査研究、導入可否検討		
		実績			
		計画			
		実績			
		計画			
		実績			
	計画				
	実績				
実施内容に対応する具体的な内容	①公共施設、都市計画、防災情報の一体的な情報として統合型地図情報システムを稼働する。令和4年度中の庁外利用を検討する。 ②行政手続のオンライン化を進める。 ③市民生活、産業振興、教育分野等におけるICT技術を活用したスマートシティの取り組みに関する先進事例を調査研究し、メリットやデメリット、コスト等多角的な視点から本市における導入可能性を検討する。				

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	①庁内への公開を終え、業務への利用を開始している。本年中の庁外公開を行う。 ②子育て、介護関係24手続きについて、令和4年度中にオンライン申請受付システムを導入するべく準備を進めている。 ③新城市DX推進支援業務委託により、特に市民生活、産業振興、教育分野における先進事例について調査するべく準備を進めている。
	下半期	やや遅延	①庁外への公開準備をほぼ終え、早急に公開できるよう手続きを進めている。 ②子育て、介護関係24手続きについて、令和4年度にオンライン申請受付システムを導入した。今後、各業務の受付に関する事務手順等を整理した上で、早急に受付を開始する。 ③新城市DX推進支援業務委託により、市民生活、産業振興、教育分野におけるDXの取組みの先進事例の調査を行った。本調査結果をもとに、本市における導入可能性等を検討していく。
令和5年度	上半期	ほぼ順調	①一部データについて、R5.5より庁外への公開を開始した。 ②子育て、介護関係24手続きのうち21手続き、罹災証明発行申請手続きについて、R5.8よりオンライン申請受付を開始した。さらに、火災予防条例関係手続きについて令和5年度中のオンライン化を予定している。 ③令和4年度に実施した新城市DX推進支援業務委託により調査を行った先進事例について、引き続き本市における導入可能性を含め検討していく。
	下半期	順調	①立地適正化計画に関するデータを新規追加した。また、公開中のデータについてはR6.3に最新データに更新した。 ②子育て・介護関係21手続き、被災者支援関係1手続き、転入・転出関係2手続き、消防法令関係1手続き、その他5手続きの合計30手続きについてオンライン化している。 ③保育ICTシステム、公共施設予約システム、フロントヤード改革、生成AI活用、EBPM関連の先行事例について調査を行った。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

# 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	2	安心して暮らし続けられるまち 【日々の生活の安心と、将来不安を取り除くことを最優先】					
提案	1	後期高齢者のSバス利用を無償化します					
具体的な政策内容	運転免許証を返納された75歳以上の方のSバス利用の無償化から検討を始めます。						
担当課	公共交通対策課・高齢者支援課		SDGs	  			
評価指標 (KPI)	対象年齢、移動手手段の種類等の無償化の条件を検討し、無償化の内容を決定						
当初現状値	Sバス 1乗車200円（新城、鳳来、作手をまたがる区間は400円）、豊鉄バス距離制運賃 高齢者タクシー助成 1乗車700円（80歳以上で免許または車のない方に24枚配布）						
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値			調査実施	検討	検討・準備	実施	
実績値			調査実施	検討	—	—	
実施内容	各地域での路線再編及び移動手手段確保	計画					
		実績					
	免許返納者及び予定者の移動ニーズ調査・分析	計画					
		実績					
	高齢者タクシー助成利用状況調査・分析	計画					
		実績					
	無償化内容の検討 公共交通会議での協議	計画					
		実績					
	R7予算化及び条例等改正 市民周知	計画					
		実績					
実施	計画						
	実績						
実施内容に対応する具体的な内容	<p>①高齢者の移動手手段の実態把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・免許返納者全員の移動手手段確保の状況調査及び免許返納受付時における移動ニーズ調査・分析（公共交通対策室）</li> <li>・令和3年度高齢者タクシー助成制度の利用状況把握・分析（高齢者支援課）</li> </ul> <p>②新城市地域公共交通計画に基づく各地域の路線再編及び移動手手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域主体の検討組織と一緒にSバスの再編やその他の移動手手段確保について協議及び実施</li> </ul> <p>③無償化内容の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①及び②を踏まえた諸課題の整理</li> <li>・対象年齢、無償化する内容（Sバス、タクシー等）の検討、試算</li> <li>・高齢者タクシー助成制度の見直し及び運転免許返納時の交付内容の検討</li> <li>・新城市地域公共交通会議における協議</li> </ul> <p>④準備及び実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算化及び必要に応じて条例、要綱の改正、道路運送法等に基づく諸手続き、市民周知（説明会の実施） → 整い次第実施</li> </ul>						

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	地域主体の検討組織と一緒にSバスの再編やその他の移動手段確保について協議を行っている。 高齢者タクシー助成制度利用者の実態把握を行っている。
	下半期	ほぼ順調	地域主体の検討組織と一緒にSバスの再編やその他の移動手段確保について協議を行っている。千郷地区については令和5年度に運行形態を変更し、空白地域の解消を図る。 高齢者タクシー助成制度利用者の実態把握を行っている。
令和5年度	上半期	ほぼ順調	地域主体の検討組織と一緒にSバスの再編やその他の移動手段確保について協議を行っている。 タクシークーポン付きSバス1日乗車券の導入検討。(10/1実証実験開始)
	下半期	ほぼ順調	地域主体の検討組織と一緒にSバスの再編やその他の移動手段確保について協議を行っている。 タクシークーポン付きSバス1日乗車券の実証実験を行った。(10/1~3/31) 地域のSバス見直し状況、乗車券実証実験等を見据え、無償化の実現性等について検討を行っている。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

## 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	2	安心して暮らし続けられるまち 【日々の生活の安心と、将来不安を取り除くことを最優先】				
提案	2	健康体操など健康づくり活動を支援します				
具体的な政策内容	健康づくり活動等に取り組む団体や市民をサポートします。					
担当課	健康課	SDGs				
評価指標 (KPI)	①健康マイレージ事業チャレンジ達成者まいかカード発行数 ②健康づくりリーダー登録数 ③食生活改善推進員登録数 ④健康講座参加者数					
当初現状値	①健康マイレージ事業チャレンジ達成者まいかカード発行数 33件 ②健康づくりリーダー登録数 29人 ③食生活改善推進員登録数 31人 ④健康講座参加者 151人					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		①	50件	65件	80件	100件
		②	30人	31人	32人	33人
		③	37人	37人	37人	40人
		④	200人	200人	300人	400人
実績値		①	25件	40件	—	—
		②	24人	29人	—	—
		③	28人	27人	—	—
		④	257人	500人	—	—
実施内容	①健康マイレージ事業に参加し自主的に健康づくりに取り組む	計画				
		実績				
	①スマートフォンアプリ「あいち健康プラス」の導入検討	計画				
		実績				
	【導入決定時】①スマートフォンアプリ「あいち健康プラス」実施	計画				
		実績				
	②健康づくりリーダーの活動支援	計画				
		実績				
	③食生活改善推進員の活動支援	計画				
		実績				
④健康講座等の開催	計画					
	実績					
⑤市内運動教室の情報提供	計画					
	実績					
実施内容に対応する具体的な内容	【健康づくり活動に取り組む市民をサポート】 ・健康マイレージ達成者向け特典サービスを充実 ・スマートフォン向けアプリ「あいち健康プラス」を導入している他市へ状況把握後、導入を検討 ・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら健康教育、健康相談、健康に関する教室等を実施 ・市内で実施されている運動教室をまとめたちらしの作成と情報を提供 【健康づくり活動等に取り組む団体をサポート】 ・健康づくりに理解と関心のある者に愛知県健康づくりリーダー養成講座の受講を勧奨 ・愛知県健康づくりリーダーへ教室等の講師を依頼 ・新城市健康づくり食生活改善推進員の育成講座の開催 ・新城市健康づくり食生活改善推進員の養成講座を3年毎に開催 ※令和4年度、令和7年度予定					

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康マイレージ対象年齢を拡大し周知（18歳以上から小学生以上へ）</li> <li>愛知県健康づくりリーダーの運動教室2回、新城市健康づくり食生活改善推進員を3人養成</li> <li>健康教育4回52人、講座（腎臓病予防）2回11人</li> </ul>
	下半期	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康アプリ利用者把握</li> <li>愛知県健康づくりリーダーの運動教室1回、新城市健康づくり食生活改善推進員新規登録者2人</li> <li>健康教育8回125人、生活習慣病予防7回69人</li> </ul>
令和5年度	上半期	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康に関するアプリ利用把握（舟着健康づくりアンケートより）利用率 15.1%</li> <li>健康マイレージ周知（HP、広報4月号、各種講座参加者、訪問等）発行数 3件</li> <li>健康づくりリーダー登録数 29人</li> <li>新城市健康づくり食生活改善推進員登録数27人、総会1回、定例会4回開催</li> <li>健康教育5回104人、講座（姿勢チェック・運動他）6回39人</li> </ul>
	下半期	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康マイレージ事業まいかカード発行数 37件</li> <li>愛知県健康づくりリーダーの運動教室3回、新城市健康づくり食生活改善推進員定例会7回開催</li> <li>健康教育8回183人、講座（姿勢チェック・運動他）6回174人</li> </ul>
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

## 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	2	安心して暮らし続けられるまち 【日々の生活の安心と、将来不安を取り除くことを最優先】				
提案	3	市民病院の診療体制の維持と充実をはかります				
具体的な政策内容	県に対して、医師派遣と北部医療圏における市民病院の医療体制の堅持を強く働きかけます。					
担当課	地域医療支援室・総務企画課	SDGs				
評価指標 (KPI)	招聘した医師の人数					
当初現状値	10人					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		8人	8人	8人	8人	
実績値		8人	9人	—	—	
実施内容	県及び関連大学への医師派遣要請	計画				
		実績				
	医師の招聘（県派遣）	計画				
		実績				
		計画				
		実績				
		計画				
		実績				
	計画					
	実績					
実施内容に対応する具体的な内容	<p>【医師の招聘】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県へ文書による依頼、市幹部等が県庁へ出向いての要望、県担当部局との意見交換の場を設け、引き続き自治医大卒業医師等の招聘を依頼する。</li> </ul> <p>【医療体制の維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北部医療圏の医療体制維持のため、常勤医のいない診療科への医師の招聘強化</li> <li>・医師の定着化に向けた、処遇改善をはじめとする労働環境の整備</li> <li>・現在の救急車収容率の堅持（令和3年度：57.2%）</li> </ul> <p>【東三河北部医療圏地域医療対策協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得奨励事業：医療関係の資格取得等に対し奨励金の交付</li> <li>・臨床情報提供システムのライセンス利用への助成</li> <li>・健康・医療に関するシンポジウムの開催</li> <li>・各種専門研修プログラム実施への助成</li> </ul>					

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	やや遅延	<p>【医師の招聘】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月～5月 愛知県担当部局との意見交換はコロナ禍により開催中止。</li> <li>・7月 愛知県知事に自治医科大学卒業医師派遣要請の文書を発出。</li> </ul> <p>【医療体制の維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医科大学を訪問して常勤医のいない診療科への医師派遣を要請（2回）</li> <li>・上半期の救急車収容率56.2%</li> </ul> <p>【東三河北部医療圏地域医療対策協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会、市町村連携部会、保健医療部会の開催</li> <li>・医療関係の資格取得等に対し奨励金の交付（18件）</li> </ul>
	下半期	やや遅延	<p>【医師の招聘】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月 対面にて愛知県担当部局に自治医科大学卒業医師派遣の継続依頼と意見交換。</li> <li>・3月 名古屋市立大学へ出向き、内科専門研修プログラムの連携施設への追加依頼。</li> <li>・3月 3月28日に愛知県と8人の派遣医師の協定書を結ぶ。</li> </ul> <p>【医療体制の維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医科大学を訪問して常勤医のいない診療科への医師派遣を要請（1回）</li> <li>・医師事務作業補助者の確保に向けた募集</li> <li>・下半期の救急車収容率53.3%（令和4年度 54.6%）</li> </ul> <p>【東三河北部医療圏地域医療対策協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会、市町村連携部会、保健医療部会の開催</li> <li>・臨床情報提供システムのライセンス利用への助成</li> <li>・健康・医療に関するシンポジウムの開催(2/19) 参加者120名+zoom視聴22名</li> <li>・医療関係の資格取得等に対し奨励金の交付（43件）</li> </ul>
令和5年度	上半期	やや遅延	<p>【医師招聘】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月 愛知県知事に自治医科大学卒業医師派遣要請の文書を発出。</li> </ul> <p>【医療体制の維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣を頂いている医科大学を訪問し医師派遣を要請（5大学14科）</li> <li>・上半期の救急車収容率55.9%</li> <li>・8月 藤田医科大学総合診療科へ出向き、総合診療プログラムの意見交換、情報交換実施。</li> </ul> <p>【東三河北部医療圏地域医療対策協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会、市町村連携部会、保健医療部会の開催</li> <li>・医療関係の資格取得等に対し奨励金の交付（25件）</li> </ul>
	下半期	ほぼ順調	<p>【医師の招聘】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月 対面にて愛知県担当部局に自治医科大学卒業医師派遣の継続依頼と意見交換。</li> <li>・3月 愛知県と8人の派遣医師の協定書を結ぶ。</li> <li>・3月 常勤の脳神経外科医師1名を独自採用する。</li> <li>・名古屋市立大学内科専門研修プログラムの連携施設へ追加された。</li> </ul> <p>【医療体制の維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医科大学を訪問して常勤医のいない診療科への医師派遣を要請（2回）</li> <li>・医師事務作業補助者1名を採用する。</li> <li>・下半期の救急車収容率55.9%（令和5年度 52.9%）</li> </ul> <p>【東三河北部医療圏地域医療対策協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村連携部会の開催</li> <li>・臨床情報提供システムのライセンス利用への助成</li> <li>・健康・医療に関するシンポジウムの開催(2/18) 参加者87名</li> <li>・医療関係の資格取得等に対し奨励金の交付（41件）</li> </ul>
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定			評価コメント

## 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	2	安心して暮らし続けられるまち 【日々の生活の安心と、将来不安を取り除くことを最優先】				
提案	4	住民の健康管理・遠隔診療・リハビリ等の取り組みを定着させます				
具体的な政策内容	「奥三河メディカルバレープロジェクト（現：ミライバレープロジェクト）」の成果を医療・保健・福祉施策として定着させます。訪問看護の分野への応用も視野に入れて研究します。					
担当課	健康課・産学官連携推進室	SDG s				
評価指標（KPI）	「奥三河メディカルバレープロジェクト（現：ミライバレープロジェクト）」に基づく医療・保健・福祉施策のための実証実験等の実施件数					
当初現状値	—					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		5件	5件	5件	5件	
実績値		6件	4件	—	—	
実施内容	産学官による医療分野の実証実験等	計画				
		実績				
	実証実験等の実装の検証	計画				
		実績				
	実装可能な実証実験等の医療等施策としての検討	計画				
		実績				
	遠隔メンタルヘルスケアシステム等への協力	計画				
		実績				
	計画					
	実績					
実施内容に対応する具体的な内容	【産学官による医療分野の実証実験等】					
	・医療現場の課題解決と高齢者等の健康管理や治療に役立つ技術開発のための実証実験や社会実装実験等を奥三河メディカルバレープロジェクト（現：ミライバレープロジェクト）に参画する名古屋大学並びに企業及び研究機関と実施する。					
	【遠隔メンタルヘルスケアシステム等への協力】					
	・遠隔メンタルヘルスケアシステムの研究が継続中は、大学、民間企業等と連携して相談対応を実施する。 ・効果検証の結果、システム構築と実用化が促進されれば、市民への定着について検討する。					

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	<p>【産学官による医療分野の実証実験等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器位置情報可視化システムなど5件の実証実験を実施中。3研究機関、4企業が参加。</li> </ul> <p>【遠隔メンタルヘルスケアシステム等への協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報5月号でメンタル不調を調べるオンラインアプリ「KOKOROBO」を紹介。</li> <li>・「KOKOROBO」利用者における受療必要者の体制整備。</li> </ul>
	下半期	ほぼ順調	<p>【産学官による医療分野の実証実験】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器位置情報可視化システムなど5件の実証実験を実施。</li> </ul> <p>【遠隔メンタルヘルスケアシステム等への協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「KOKOROBO」利用者における受療必要者の紹介依頼はなかった。</li> </ul>
令和5年度	上半期	ほぼ順調	<p>【産学官による医療分野の実証実験等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器位置情報可視化システムの実証実験を継続。放射線シールドの無鉛化プロジェクトなど3件の実証実験の実施を検討中。（産学官連携推進室）</li> </ul> <p>【遠隔メンタルヘルスケアシステム等への協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「KOKOROBO」の研究事業エリアとして継続。（健康課）</li> </ul>
	下半期	ほぼ順調	<p>【産学官による医療分野の実証実験等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器位置情報可視化システムなど2件の実証実験を実施。せん妄対応支援プログラムなど2件の実証実験は実施に至らず。（産学官連携推進室）</li> <li>・救急搬送の情報共有に関する社会実装実験を実施。（消防本部消防署）</li> </ul> <p>【遠隔メンタルヘルスケアシステム等への協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「KOKOROBO」の社会実装実験に協力。利用者における受療必要者の紹介依頼はなかった。（健康課）</li> </ul> <p>【実証実験等の実装化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度に産学官連携室が実施した実証実験「スマートホスピタル」の成果が参加企業により医療介護施設向けIoTデータプラットフォームとして製品化された。同製品は、医療機関における、医療従事者の管理業務の効率化、患者や要介護者の安全、医療サービスの向上に寄与する技術開発である。</li> </ul>
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

## 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	2	安心して暮らし続けられるまち 【日々の生活の安心と、将来不安を取り除くことを最優先】				
提案	5	買い物支援策の充実をはかります				
具体的な政策内容	移動販売を行っている事業者へのサポートを継続し、新たな事業者を募ります。					
担当課	企画調整課・高齢者支援課・産業政策課		SDG s			
評価指標 (KPI)	移動販売車利用者人数 (年間)					
当初現状値	24,054人 (362日) ※令和3年12月末現在 (2事業者分)					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		35,000人	35,000人	45,000人	55,000人	
実績値		28,078人	36,509人	—	—	
実施内容	地域の買物に対するニーズ調査	計画				
		実績				
	実施事業所への聞き取り	計画				
		実績				
	事業所へのサポート内容を検討	計画				
		実績				
	R6事業予算化・要綱改正	計画				
		実績				
事業周知・実施・評価	計画					
	実績					
	計画					
	実績					
	計画					
	実績					
実施内容に対応する具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新城市第9期高齢者福祉計画の基礎調査に併せ、買物についてのニーズ調査を実施 (1,500人対象)</li> <li>・補助金対象事業所、補助金を受けていない移動販売事業を行っている業者、両者への聞き取りにより、現状把握</li> <li>・買い物困難な人への支援策について、関係各課と事業者への燃料費や維持費等の支援策も視野に検討し、事業見直しの場合は事業の予算要求、要綱改正</li> <li>・事業の周知と実施、効果検証</li> </ul>					

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	やや遅延	高齢者ニーズ調査は10月1日に自治区毎に150人、全部で1500人を対象に配布した。11月以降に結果を分析していく予定。事業所への聞き取りは本格的実施に至らず。関係各課との調整もできていない。12月補正で燃料費の補助を計上。
	下半期	やや遅延	高齢者ニーズ調査を実施し、1,015人からの回答内容の集計分析を行った。市内で移動販売を行っている3事業者に対し1車両当たり3万円の燃料費高騰に対する支援金(計12万円)を交付した。あわせて新規参入の相談も2件行った。なお、サポート等事業所への本格的な聞き取り。関係各課との調整はできていない。
令和5年度	上半期	ほぼ順調	令和5年度、市の補助金の交付を受けた事業者がこの10月から市内で事業を開始した。その他に1事業者から事業参入に向けた相談をうけている。 令和5年4月から9月までの活動実績は、稼働日数 231日、延べ利用者数は17,544人となっている。
	下半期	順調	令和5年10月から1事業者が新たに移動販売を開始し、市の補助金交付を受けた団体の稼働は3事業者となった。令和5年度の活動実績は3事業者合わせて、稼働延べ日数809日、延べ利用者数は36,509人となっており、目標値を達成し、買物困難地域の支援につながっている。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

## 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	2	安心して暮らし続けられるまち 【日々の生活の安心と、将来不安を取り除くことを最優先】				
提案	6	外国籍の方に優しい多文化共生のまちにします				
具体的な政策内容	多言語での対応の充実を図り、外国籍の方の地域生活を支援します。					
担当課	市民自治推進課	SDGs				
評価指標 (KPI)	外国人市民の市民生活満足度					
当初現状値	74.3% (令和4年度実施)					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		—	76%	78%	80%	
実績値		74.30%	72.19%	—	—	
実施内容	外国語相談窓口 (対面：ポルトガル語、AI翻訳機)	計画				
		実績				
	市民生活満足度調査 (R4は実態調査内で実施)	計画				
		実績				
	多言語SNSでの情報発信	計画				
		実績				
	外国人市民実態調査 (R4全世帯)	計画				
		実績				
	外国人市民実態調査結果の分析	計画				
		実績				
多文化共生プラン策定	計画					
	実績					
日本語教育の推進、充実	計画					
	実績					
実施内容に対応する具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種行政手続きの円滑化を図るため、市役所本庁1階総合案内に外国語相談窓口を開設し、多言語対応実施。(対面：ポルトガル語・スペイン語、その他の言語はAI翻訳機を活用)</li> <li>・市内在住の全外国人世帯を対象に外国人市民の実態調査を実施。(令和4年度)</li> <li>・調査結果をもとに多文化共生プランを策定し、より効果的な事業を実施していく。</li> <li>・外国人市民を対象に市民生活満足度調査を実施。(令和4年度：外国人市民実態調査に含む。令和5～7年度：300人抽出)</li> </ul>					

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁1階総合案内に外国語相談窓口を開設。(相談件数4~9月:824件)</li> <li>・市内在住の全外国人世帯を対象に外国人市民の実態調査を実施。(回答者数187人/送付者数882人、回答率21.2%)</li> </ul>
	下半期	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁1階総合案内に外国語相談窓口を開設。(相談件数10~3月:815件)</li> <li>・外国人市民実態調査結果をクロス集計し、報告書を作成。全85頁。(回答者数:高校生以上の部187人、中学生の部21人)</li> </ul>
令和5年度	上半期	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁1階総合案内に外国語相談窓口を開設。(相談件数4~9月:776件)</li> <li>・市内在住の高校生以上の外国人300人を対象に満足度調査を実施。(回答者数67人、回収率22.3%)</li> <li>・令和4年度の外国人市民実態調査及び令和5年度の日本人市民意識調査をもとに多文化共生推進プラン骨子案を作成し、プラン策定検討会議及び多文化共生推進連絡会議の意見をとりまとめ、多文化共生推進プラン(案)を作成中。</li> </ul>
	下半期	やや遅延	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁1階総合案内に外国語相談窓口を開設。(相談件数10~3月:744件)</li> <li>・市内在住の高校生以上の外国人300人を対象に満足度調査を実施。満足度72.19%(回答者数67人、回収率22.3%)</li> <li>・新城市多文化共生推進プランを策定し、令和6年4月1日から施行する。</li> <li>・「地域における初期日本語教育指導者養成講座」を県との共催事業として実施。指導者20人を養成し令和6年度から市が主体で実施する初期日本語教室の下準備をした。</li> </ul>
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

## 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	2	安心して暮らし続けられるまち 【日々の生活の安心と、将来不安を取り除くことを最優先】				
提案	7	女性の活躍推進につながる働き方改革や子育て支援策の充実をはかります				
具体的な政策内容	事業所等の協力を得ながら、働き方改革や子育て支援策の充実を図ります。					
担当課	市民自治推進課・こども未来課・産業政策課	SDG s				
評価指標 (KPI)	①新城市パートナープランの基本目標3「就業の場での女性の活躍促進」の各課施策の達成状況 ②こども園の待機児童数（4月1日現在）					
当初現状値	①49%【令和2年度実施結果】 ②0人【令和4年度実施結果】					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		①	65%	66%	67%	79%
		②	0人	0人	0人	0人
実績値		①	51.8%	58.0%	—	—
		②	0人	0人		
実施内容	女性のセカンドキャリア支援	計画				
		実績				
	保育等ニーズ調査及び第三期子ども・子育て支援事業計画の策定	計画				
		実績				
	新城市パートナープラン各課取組状況調査 (C)	計画				
		実績				
	新城市男女共同参画審議会外部評価 (A)	計画				
		実績				
	各課取組内容の検討 (P)	計画				
		実績				
	各課事業実施 (D)	計画				
		実績				
実施内容に対応する具体的な内容	<p>【雇用対策事業】 女性のセカンドキャリアを支援するため、社会参加啓発セミナー、職場見学会・体験会、就職面接会・説明会、相談会を開催する。また、地元企業への女性再雇用に関する職域拡大セミナーを開催する。</p> <p>【子育て支援事業】 第三期子ども・子育て支援事業計画に向けた保育等ニーズ調査の実施、こども園入園基準の拡大（育児休業分）、放課後児童クラブ開設時間の延長・利用者負担金軽減、ひとり親家庭自立支援（ハローワークとの連携）、企業内保育所との連携及び開設相談を実施する。</p> <p>【女性活躍推進事業】 新城市パートナープラン（第2次新城市男女共同参画プラン）の推進。特に基本目標3「就業の場での女性の活躍促進」における担当課の取組状況に対する施策評価が向上するよう、各課が新城市男女共同参画審議会による外部評価の結果を踏まえて事業内容を修正しながら進めるよう体制を整える。</p>					

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	<p>【雇用対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月22日 合同求人説明会・面接会の開催</li> <li>・7月12日 おしごと・ボランティア相談会の開催</li> <li>・9月11日 家事・育児シェア講座の開催</li> </ul> <p>【子育て支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出張ハローワーク！ひとり親全力サポートキャンペーン（8月18日～19日）</li> </ul> <p>【女性活躍推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新城市パートナープラン各課取組状況調査実施（5月2日～5月27日）</li> <li>・プラン基本目標3の達成率 49%→51.8%（R3実施状況結果）</li> <li>・男女共同参画審議会でプランに対する外部評価実施（8月10日～2月頃）</li> </ul>
	下半期	ほぼ順調	<p>【雇用対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同求人説明会の開催（1月22日、1月24日、2月20日、2月22日、2月24日）</li> <li>・企業見学会の開催（12月8日、12月14日、2月11日）</li> <li>・人材育成等講習会の開催（1月11日～13日、11月27日、1月22日、11月29日～12月1日、12月7日～9日、2月26日）</li> </ul> <p>【子育て支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブ利用ニーズ調査実施（11月1日～22日）</li> <li>・企業内保育所へ情報共有（毎月）</li> </ul> <p>【女性活躍推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画審議会でプランに対する外部評価まとめ（11月10日、1月23日）</li> <li>・男女共同参画審議会の答申内容を公表（3月2日）</li> </ul>
令和5年度	上半期	ほぼ順調	<p>【雇用対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同求人説明会の開催（6月6日、6月18日）</li> <li>・企業見学会の開催（7月17日、9月22日）</li> <li>・人材育成等講習会の開催（6月17日、7月9日、8月23日～25日、8月26日、9月13日～15日）</li> <li>・セカンド・キャリア講習会の開催（7月1日、15日、29日）</li> </ul> <p>【子育て支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出張ハローワーク！ひとり親全力サポートキャンペーン（8月17日～18日）</li> <li>・第三期子ども・子育て支援事業計画に向けた保育等ニーズ調査業務委託契約（10月4日）</li> <li>・企業内保育所へ情報共有（毎月）</li> </ul> <p>【女性活躍推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新城市パートナープラン各課取組状況調査実施（4月24日～5月26日）</li> <li>・プラン基本目標3の達成率 58.0%（R4実施状況結果）9%アップ</li> <li>・男女共同参画審議会でプランに対する外部評価実施（8月9日～2月頃）</li> </ul>
	下半期	ほぼ順調	<p>【雇用対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同求人説明会の開催（10月31日、2月11日）</li> <li>・企業見学会の開催（10月24日）</li> <li>・人材育成等講習会の開催（10月25日～11月1日計2回、12月6日～1月24日計4回、12月10日～1月14日計2回）</li> <li>・セカンド・キャリア講習会の開催（11月29日）</li> </ul> <p>【子育て支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三期子ども・子育て支援事業計画に向けた保育等ニーズ調査実施（10月5日～3月15日）</li> <li>・企業内保育所へ情報共有（毎月）</li> </ul> <p>【女性活躍推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画審議会でプランに対する外部評価まとめ（11月20日、1月23日）</li> <li>・男女共同参画審議会の答申内容を公表（2月28日）</li> </ul>
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

## 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	2	安心して暮らし続けられるまち 【日々の生活の安心と、将来不安を取り除くことを最優先】				
提案	8	障がい者、高齢者、認知症の方への支援を充実します				
具体的な政策内容	高齢者、障がい者の方への権利擁護支援の体制を整えます。認知症の方への支援は、家族の安心につながる事業に取り組みます。					
担当課	福祉課・高齢者支援課	SDG s				
評価指標 (KPI)	①権利擁護支援センターの相談利用者実人数 ②市民後見人養成講座受講者人数					
当初現状値	① 88人【令和2年度中】 ② 0人					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		①	100人	100人	100人	100人
		②	20人	20人	20人	20人
実績値		①	88人	149人	—	—
		②	11人	20人	—	—
実施内容	成年後見支援センターの運営	計画				
		実績				
	成年後見制度の周知	計画				
		実績				
	高齢者及び障がい者虐待ネットワークの見直し	計画				
		実績				
	市民後見人養成講座	計画				
		実績				
	おかえり結ネット事前登録・どこシル伝言板周知	計画				
		実績				
	見守りネットワーク（おかえり結ネット）周知	計画				
		実績				
	高齢者虐待早期発見・対応の周知	計画				
		実績				
	障害者虐待早期発見・対応の周知	計画				
		実績				
実施内容に対応する具体的な内容	<p>【権利擁護支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「権利擁護支援の地域連携ネットワークの中核となる機関」として「広報機能」、「相談機能」、「成年後見制度利用促進機能」、「後見人支援機能」の充実・強化に取り組んでいく。</li> <li>・権利擁護についての理解を深めるため、講演会を開催する。</li> <li>・令和4年度より、市民後見人養成講座を開催し、権利擁護の担い手を確保していく。</li> </ul> <p>【見守りネットワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度より、認知症等で外出したまま帰宅困難になる心配のある方の事前登録制度を始め、令和4年度からは登録した方にQRコードつきのシールを配布する事業を開始する。</li> <li>・行動が心配（不自然）な高齢者を発見した場合に市などに連絡していただく協力事業所を増やし、市全体で見守り体制を構築していく。</li> <li>・虐待は生命・身体・財産に重要な影響を及ぼすことから、早期に発見し、本人の望む生活が送れるよう対応する。加えて、深刻な状況になる前に発見者から通報が入るよう周知を進める。</li> </ul>					

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	<p>【権利擁護支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、事務局会議を開催し、支援が必要な方や虐待が疑われる方の事例や課題を確認している。また事例に応じ支援検討委員会を開催し弁護士などから意見をいただき後見等の必要性を検討している。制度の周知については、11月25日（金）に講師を招いての研修会を実施予定。</li> <li>・市民後見人養成講座は予定通り実施中。基礎課程が修了。</li> </ul> <p>【見守りネットワーク事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おかえり結ネットの周知や虐待対応の早期発見についての周知を継続中。虐待ネットワークの見直しは未着手。</li> </ul>
	下半期	ほぼ順調	<p>【権利擁護支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、事務局会議・支援検討委員会を開催し後見等の必要性を検討した。11月25日（金）に講師を招いて「新城市成年後見支援センター権利擁護研修会」を実施し制度の周知を図った。高齢者及び障がい者虐待ネットワークの見直しについては、ネットワーク協議会の委員と成年後見支援センターの運営委員会で協議内容・構成員が共通することから一体的に行えるよう協議中。</li> <li>・市民後見人養成講座は予定通り実施した。</li> </ul> <p>【見守りネットワーク事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おかえり結ネットの周知や虐待対応の早期発見についての周知を継続中。</li> </ul>
令和5年度	上半期	ほぼ順調	<p>【権利擁護支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、事務局会議・支援検討委員会を開催し後見等の必要性を検討した。高齢者及び障がい者虐待ネットワークの見直しについては、「ネットワーク運営委員会」と「権利擁護支援センター運営委員会」で協議内容・構成員が共通することから、10月に要綱改正、年1回委員会を同日開催する予定。</li> <li>・市民後見人養成講座は予定通り実施した。</li> </ul> <p>【見守りネットワーク事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おかえり結ネットの周知や虐待対応の早期発見についての周知を継続中。</li> <li>・認知症個人賠償保険の運用を開始。令和5年9月末時点で6名が登録済み</li> </ul>
	下半期	順調	<p>【権利擁護支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R6.3.7 新城市権利擁護支援センター（市委託事業）を事務局とする「運営委員会」が初めて開催され、権利擁護支援の体制整備を図った。同日、「新城市高齢者及び障害者虐待防止ネットワーク運営委員会」を4年ぶりに開催し、虐待の早期発見の重要性と通報窓口について周知を図った。</li> <li>・市民後見人養成講座は予定通り実施し、20名が受講。内、11名が新城市権利擁護支援センターに市民後見人として登録された。</li> </ul> <p>【見守りネットワーク事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おかえり結ネットの周知や虐待対応の早期発見についての周知を継続中。</li> <li>・認知症個人賠償保険の運用を開始。令和6年3月末時点で8名が登録済み。</li> </ul>
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

## 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	3	市民の安全を守るまち 【防災・防犯・交通安全対策で、市民の生命と財産を守る】				
提案	1	感染症対策を考慮し、災害時における避難マニュアルを再度見直します				
具体的な 政策内容	感染症の教訓をふまえ、避難方法や避難所運営の在り方等を再検証します。					
担当課	防災対策課	SDG s				
評価指標 (KPI)	避難所訓練 (研修) の実施					
当初現状値	自主防災会計画の訓練実施					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		1回	1回	2回	2回	
実績値		2回	4回	—	—	
実施内容	避難所運営マニュアルの見直し	計画				
		実績				
	避難所訓練の実施	計画				
		実績				
	マイ・ハザードマップの作製支援	計画				
		実績				
		計画				
		実績				
		計画				
		実績				
	計画					
	実績					
実施内容 に対応する 具体的な内容	<p>○避難所運営マニュアルの見直し 避難所における新型コロナウイルス感染拡大防止のための対処方針による避難の在り方等の再検証を行う。</p> <p>○避難所訓練 (研修) の実施 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金により整備した資機材及び、B&amp;G財団事業研修費を活用した避難所訓練 (防災キャンプ) を実施する。</p> <p>○マイ・ハザードマップの作製支援 愛知県 (砂防課、新城設楽建設事務所管内) の事業による土砂災害警戒区域内での避難行動対策のためのマイ・ハザードマップの作製支援を実施する。</p>					

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	9/25避難所運営訓練（東郷地区）実施し、避難所運営の検証、課題抽出が出来た。また、11/5～6で実施する避難所訓練（防災キャンプ）へ向けての調整を実施中。
	下半期	順調	11/5～6避難所訓練（防災キャンプ）実施済。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金により整備した資機材及び、B&G財団事業研修費を活用し、東郷地区区民60名を対象として実施できた。また、3/26舟着地区マッピングパーティー（防災地図づくり）の中で、マイハザードマップを作成する内容を実施し、各家庭における災害時の避難行動が再確認できた。さらには、11/21・30作手中学校2年生を対象に、「防災小説」を書く授業を実施し、“まだ”起きていない未来の災害を、“もうすでに”起きたものとして災害に直面した時の自分自身の行動と家族等の周りの行動を具体的にイメージすることで、事前の備えや家庭内での災害遭遇時の事前共有の重要性を理解し、参加者の能動的なアクションを促すことができた。
令和5年度	上半期	順調	避難所運営訓練3カ所を実施済（6/18東郷地区・7/28千郷小学校6年・9/16八名地区）11/25～26で実施する避難所訓練（防災キャンプ）へ向けての調整を実施中。自主防災会防災事業等説明会では、マイハザードマップについての説明を行い、早期避難やタイミングの重要性を周知した。
	下半期	順調	11/25～26避難所運営訓練（防災キャンプ）実施済。（B&G財団事業研修費を活用）参加対象として、鳳来中部地区区民及び本市避難所担当職員の60名が参加された。大規模災害時では避難者の方々と避難所運営をしていただくことが想定され、災害発生時に発生する様々な状態、避難者が陥る様々な事象を経験して、今後の備え方の一助となる訓練であった。マイハザードマップについては、お出かけ講座等を通じて早期避難やタイミングの重要性を周知し、作成を呼びかけた。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

## 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	3	市民の安全を守るまち 【防災・防犯・交通安全対策で、市民の生命と財産を守る】			
提案	2	集中豪雨による洪水害予防の対策を強化します			
具体的な政策内容	集中豪雨等による河川の増水時に、県やダム管理者との協力関係を強化し、流域の市民の方へ早めの情報提供を確実にいきます。				
担当課	防災対策課・土木課	SDG s			
評価指標 (KPI)	国・県・ダム管理者との連携会議、訓練の実施状況				
当初現状値	国2回・県2回・ダム管理者1回				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値		5回	5回	5回	5回
実績値		5回	5回	—	—
実施内容	洪水ハザードマップの作成に向けた調査等	計画			
		実績			
	洪水ハザードマップの作成・配布	計画			
		実績			
	洪水ハザードマップの周知啓発（既存含む）	計画			
		実績			
	防災無線等による随時周知	計画			
		実績			
	計画				
	実績				
	計画				
	実績				
実施内容に対応する具体的な内容	<p>○洪水ハザードマップの作製（土木課）          県管理河川管理者が公表した洪水浸水予想図を基に、新城市洪水ハザードマップを作成し、住民への配布を実施する。</p> <p>○防災無線等による随時周知啓発          国・県・ダム管理者と、情報連携を実施し、集中豪雨時における河川の状況について、迅速な情報提供が行えるよう、定期的な会議、訓練を実施する。</p>				

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	順調	洪水ハザードマップ（県河川）作成に向け、国庫補助金事前申請書類を県へ提出準備中。（市予算は、令和4年度3月補正要求し、繰越明許予定） 既存洪水ハザードマップ周知啓発は、防災無線等及びお出かけ講座等で随時実施中。
	下半期	順調	洪水ハザードマップ作成委託料を令和4年度3月補正予算により予算化し、国庫補助金（社資令和4年度2次補正（加速化対策）関係）交付決定済。令和5年度中に作成、配布予定（令和5年度に繰越明許）。
令和5年度	上半期	順調	令和5年8月2日、洪水ハザードマップ作成業務委託発注済。 ハザードマップ記載事項等関係部署と協議しながら作成中である。 既存洪水ハザードマップ周知啓発は、防災無線等及びお出かけ講座等で随時実施中。
	下半期	順調	令和6年3月25日、洪水ハザードマップ作成業務委託完了。 ハザードマップの各戸配布準備中。（配布予定：5月区長発送文書） 既存洪水ハザードマップ周知啓発は、防災無線等及びお出かけ講座等で随時実施中。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

## 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	3	市民の安全を守るまち 【防災・防犯・交通安全対策で、市民の生命と財産を守る】				
提案	3	防災情報の的確な伝達と避難時の支援強化をはかります				
具体的な 政策内容	外国籍の方や体の不自由な方への防災情報の的確な伝達と、行政と地域住民による支援強化の在り方を再度確認します。					
担当課	防災対策課・市民自治推進課・福祉課・ 高齢者支援課	SDGs				
評価指標 (KPI)	防災講話 (お出かけ講座)					
当初現状値	随時実施 (R3:10回)					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		10回	10回	10回	10回	
実績値		26回	22回	—	—	
実施内容	防災アプリの普及啓発	計画				
		実績				
	防災講話 (お出かけ講座)	計画				
		実績				
	災害時要援護者避難支援 制度の普及・啓発	計画				
		実績				
		計画				
		実績				
	計画					
	実績					
実施内容 に対応する 具体的な 内容	<p>○防災アプリの普及啓発 災害時の情報収集手段について、周知を行う。 防災無線 個別受信機、屋外拡声子局による情報伝達の補完。 ・新城市ホームページ・テレビ・携帯電話・新城市メール配信システム・地震情報・風水害情報 ・新城市防災行政情報 (防災アプリ=多言語10言語に対応) ※啓発対象者は全市民 (聴覚障がい者・外国人を含む)</p> <p>○防災講話 (お出かけ講座) では、新城市職員が集会等に出向き、①地震に対する備えについて②風水害に対する備えについて、わかりやすく説明する「新城市お出かけ講座」を実施する。 ※防災学習ホールでは、防災講話の受講及び地震体験が可能。</p> <p>○災害時要援護者避難支援制度普及では、福祉介護事業所及びケアマネと連携をとり、一人でも多く『個別避難計画』の策定に向けて調整していく。</p>					

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	防災アプリの啓発：HP、広報ほのか6月号、自主防災会事業説明会での啓発済。お出かけ講座での啓発継続中。 防災講話（お出かけ講座）：10月末現在 23団体受付中15団体実施済
	下半期	ほぼ順調	防災アプリの啓発：全お出かけ講座での啓発を継続実施。 防災講話（お出かけ講座）：令和4年度中、26回実施（うち、外国人対象1回）し、令和3年度実績対比260%と大幅に上昇となった。※参考R3：10回
令和5年度	上半期	ほぼ順調	防災アプリの啓発：自主防災会事業説明会、全てのお出かけ講座での啓発を継続実施。 防災講話（お出かけ講座）：10月末現在 22団体受付中19団体実施済 災害時要援護者避難支援制度の普及・啓発 ①広報11月号にて災害時要援護者名簿登録について周知・促進を図った。 ②7月に要援護者名簿を更新し、区長、民生委員、消防団に配付した。 ③新城市地域自立支援協議会の中で個別避難計画に関する取り組みについて検討している。
	下半期	ほぼ順調	【防災対策課】 ・防災アプリの啓発：全お出かけ講座での啓発を継続実施。登録者数：5,976人（3月末） ・防災講話（お出かけ講座）：令和5年度22団体実施（うち、外国人対象1回） 【市民自治推進課】 ・防災アプリの啓発：外国人転入時の配布チラシにQRコードで紹介。6言語で配布した。 ・防災啓発に関する展示会：1月15日～31日に市役所1階情報カフェで実施。 防災グッズ、実際の災害時写真等をやさしい日本語、ポルトガル語、英語で標記した。 【福祉課】 ・災害時要援護者避難支援制度の普及啓発の継続 新城市地域自立支援協議会で、個別避難計画を専門職が1件作成し、作成時における課題や所要時間などを検証。 各地域で自主的に作成した個別避難計画は、福祉課把握分で47件となっている。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

## 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	3	市民の安全を守るまち 【防災・防犯・交通安全対策で、市民の生命と財産を守る】				
提案	4	再生可能エネルギーによる自給自足電源で、災害に強いまちを創ります				
具体的な政策内容	公共施設への太陽光発電設備と併せて蓄電池の設置の必要性を検討します。被災地での有力な電源になることから、公用車のEV（電気自動車）化を進めます。					
担当課	行政課・防災対策課・環境政策課	SDGs				
評価指標（KPI）	①公共施設への太陽光発電装置及び蓄電池の設置 ②公用車の更新には電気自動車を始めとした電源供給設備を有する車両を整備					
当初現状値	①設置2箇所【令和3年度末】 ②公用車2台（EV車含む）					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	①	2箇所	2箇所	4箇所	6箇所	
	②	2台	3台	4台	5台	
実績値	①	2箇所	2箇所	—	—	
	②	2台	2台	—	—	
実施内容	設備設置の検討	計画				
		実績				
	実施設計（年2箇所）	計画				
		実績				
	設置工事（年2箇所）	計画				
		実績				
	車両更新時に電源供給設備保有車両の導入	計画				
		実績				
避難所での活用訓練及び研修等	計画					
	実績					
	計画					
	実績					
	計画					
	実績					
実施内容に対応する具体的な内容	<p>・避難所等の防災対策として、災害による電力遮断時にも最低限の機能を維持するため太陽光と蓄電池を活用した電源を確保する。</p> <p>・公用車の車両更新には、電気自動車（EV）を始めとした電源供給設備を有する車両の整備を進める。</p> <p>・避難所での活用方針マニュアルの作成する。</p> <p>・避難所での活用訓練及び研修等の実施。</p> <p>（情報収集、連絡手段、最低限の照明等、災害時に必須のエネルギーを確保する。）</p> <p>※目標値は、累積値。</p>					

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	避難所となっている公共施設への再生可能エネルギー設備等を導入し、平時の脱炭素化に加え、災害時にもエネルギー供給等の機能発揮が可能な施設であるかを検討するため、調査委託を実施中。 EV公用車導入施策は引き続き検討中。
	下半期	ほぼ順調	避難所となっている新城中学校と千郷中学校（西部公民館）への再生可能エネルギー設備等を導入するため、実施設計業務委託料を予算化。 EV公用車導入施策は公用車更新計画の策定と併せて検討中。
令和5年度	上半期	ほぼ順調	新城中学校と千郷中学校（西部公民館）に太陽光発電設備や蓄電池等の設置に向けた実施設計書作成業務委託の設計書を作成中。 電源供給設備を有する車両の整備については、現在保有する2台へV2L（外部給電器）の導入による車両から家電機器等への電力供給を検討中。
	下半期	やや遅延	新城中学校と千郷中学校（西部公民館）に太陽光発電設備や蓄電池等を設置する計画については、人件費の高騰により入札不調となったが、国の補正予算に合わせて再度補助申請を行った。また、事業者用電気自動車導入補助金を活用して購入した電気自動車等に使用する、V2L（外部給電器）を購入するための費用を予算化した。 EV公用車（軽乗用1台）導入のため、購入費用を令和6年度予算で措置するよう準備を行った。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

## 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	3	市民の安全を守るまち 【防災・防犯・交通安全対策で、市民の生命と財産を守る】				
提案	5	ゴミのポイ捨てや不法投棄対策を強化します				
具体的な政策内容	市民の環境美化意識を高めるとともに監視体制を見直し、ゴミのポイ捨てや不法投棄対策を強化します。					
担当課	生活環境課	SDG s				
評価指標 (KPI)	①監視・啓発パトロール回数 ②クリーンフェスタの実施回数 ③宅配業者との連携					
当初現状値	①パトロール 年1回（県と連携して実施） ②クリーンフェスタ（清掃活動）実施 108件 ③市内郵便局との協定					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	①	3回	6回	6回	6回	
	②	108件	111件	114件	117件	
	③	1事業所	2事業所	3事業所	3事業所	
実績値	①	14回	11回	—	—	
	②	137件	120件	—	—	
	③	1事業所	1事業所	—	—	
実施内容	監視・啓発パトロール実施	計画				
		実績				
	クリーンフェスタ（清掃活動）の実施	計画				
		実績				
	郵便局、宅配業者、青パト隊等との連携	計画				
		実績				
		計画				
		実績				
	計画					
	実績					
実施内容に対応する具体的な内容	不法投棄を未然に防ぐ環境整備を進めるために、監視、啓発、美化活動等を職員、市民、事業者が連携して実施する。 ①職員による監視・啓発パトロールを定期、不定期に回数を重ねて実施 ②市民、事業所と連携したクリーンフェスタ（清掃活動）の実施 ③郵便局、宅配業者、青パト隊等との連携体制を構築し、不法投棄発見の情報提供を依頼					

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	①職員による監視・啓発パトロール及びポイ捨てごみの回収を実施 10回 ②クリーンフェスタ（清掃活動）の実施 62件
	下半期	ほぼ順調	①職員による監視・啓発パトロール及びポイ捨てごみの回収を実施 4回 ②クリーンフェスタ（清掃活動）の実施 75件 ③連携体制について検討中
令和5年度	上半期	ほぼ順調	①職員による監視・啓発パトロール及びポイ捨てごみの回収を実施 啓発パトロール8回、ポイ捨てごみの回収29回 ②クリーンフェスタ（清掃活動）の実施 70件 ③連携体制について検討中
	下半期	ほぼ順調	①職員による監視・啓発パトロール及びポイ捨てごみの回収を実施 啓発パトロール3回、ポイ捨てごみの回収11回 ②クリーンフェスタ（清掃活動）の実施 50件 ③宅配業者と不法投棄にかかる協定についての打合せ実施 1回
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

## 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	3	市民の安全を守るまち 【防災・防犯・交通安全対策で、市民の生命と財産を守る】			
提案	6	防犯カメラの設置支援や、青パト隊等の防犯活動を拡充します			
具体的な政策内容	防犯カメラの設置を支援するとともに、青パト隊の活動への協力と、エリア拡充のためのサポートをします。				
担当課	行政課	SDG s			
評価指標 (KPI)	①防犯カメラ設置補助の台数 ②青パト隊所管地域の復活、拡充				
当初現状値	①12台【令和3年度末】 ②青パト隊は活動休止の傾向にある（令和2年4月7団体→令和4年4月5団体）				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	①	9台補助	5台補助	5台補助	5台補助
	②	0	1地域	1地域	1地域
実績値	①	8台補助	2台補助	—	—
	②	1地域	市内全域	—	—
実施内容	地域等での防犯カメラ設置に対する補助	計画			
		実績			
実施内容に対応する具体的な内容	青パト隊等への資器材の貸与及び活動相談	計画			
		実績			
<p>【防犯カメラ補助概要】</p> <p>○補助金の交付目的 この補助金は、行政区等が行う防犯カメラの設置に対し、その設置に要する費用の一部を補助することにより、地域の安全・安心なまちづくりを推進し、住民の安全確保を図ることを目的とする。</p> <p>○補助対象経費 補助金の交付の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は、防犯カメラの設置に必要な費用とする。ただし、次に掲げるものを除く。  (1) 維持又は管理に要する費用  (2) 土地賃借料及び電力柱等への添架に係る使用料  (3) 防犯カメラの操作指導料  (4) 既存の設備の撤去に要する費用  (5) その他市長が補助対象経費として不適当と認めるもの</p> <p>○補助金の額 補助金の額は、補助対象経費の総額の5分の4以内とし、その額に1,000円未満の端数がある場合は、その端数を切り捨てた額とする。ただし、500,000円を限度とする。</p> <p>○補助金の上乗せ 新城市地域自治区予算事業計画策定要綱第4条第1項に定める事業にあっては、前条の規定により算出した額の補助金（以下「基本補助金」という。）に次項の規定により算出した額の補助金（以下「上乗せ補助金」という。）を加算して交付することができる。 上乗せ補助金の額は、補助対象経費の総額から基本補助金の額を差し引いた額の2分の1以内とし、その額に1,000円未満の端数がある場合は、その端数を切り捨てた額とする。</p> <p>【青パト隊】 引き続き活動支援のため必要な資器材の貸与を行うが、近年隊の解散報告もあるため、活動の相談や活動の無くなる又は無くなった地域への活動範囲の維持や拡大など活動への支援を行う。</p>					

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	【防犯カメラ設置補助】 5行政区、計8台（1行政区・1台分取り止め） 【青パト隊】 必要な資機材の貸与、しんしろ安全・安心で快適なまちづくり推進協議会出席
	下半期	ほぼ順調	【防犯カメラ設置補助】 次年度要望取りまとめ（2行政区、計2台） 【青パト隊】 事業所への新規委嘱1件（東海ルフト青パト隊）
令和5年度	上半期	ほぼ順調	【防犯カメラ設置補助】 2行政区、計2台 【青パト隊】 事業所への新規委嘱1件（作手しゃべり場「そら」青パト隊）
	下半期	順調	【防犯カメラ設置補助】 次年度要望取りまとめ（7行政区、計8台） 【青パト隊】 新規委嘱した事業所により市内全域のパトロール実施中
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

市長マニフェスト 取組状況報告書

目標	4	次世代が夢と希望を持てるまち 【教育・子育て支援を充実させ、次世代の郷土愛を育む】			
提案	1	小中学校の少人数学級を進めます			
具体的な政策内容	国に先駆けて中学校の少人数学級化の取り組みを進めます。				
担当課	学校教育課	SDG s			
評価指標 (KPI)	①市内中学校における35人以下の学級編成達成率 ②市費採用教員の充足率				
当初現状値	・令和3年度市内中学校37学級（特別支援を除く）のうち、35人より多い学級編成をした学級が4学級あった。よって、35人以下の学級達成率は89.2%であった。				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	①	達成率100%	達成率100%	達成率100%	達成率100%
	②	充足率100%	充足率100%	充足率100%	充足率100%
実績値	①	100%	100%	—	—
	②	100%	100%	—	—
実施内容	必要教職員数の把握	計画			
		実績			
	臨時的任用教員の任用	計画			
		実績			
	非常勤講師の任用	計画			
		実績			
		計画			
		実績			
	計画				
	実績				
実施内容に対応する具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新城市内の全ての中学校において、全学級を35人以下とする。</li> <li>・1クラス増にあたり、常勤講師1名、非常勤講師1名（13時間程度/週）を雇用する。</li> </ul> 令和4年度…実施対象校：新城中（中3：3クラス）、東郷中（中3：3クラス）、八名中（中2：2クラス） 令和5年度…実施対象校：千郷中（中2：3クラス）、東郷中（中2：3クラス）、八名中（中3：2クラス） 令和6年度…実施対象校（予定）：千郷中（中3：3クラス）、東郷中（中3、中2：3クラス） 令和7年度…実施対象校（予定）：東郷中（中3：3クラス） ※令和8年度以降は、生徒数減のため、対象学級はなくなる見通しである。				

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	対象となった市内3中学校で市費講師6名(常勤3名、非常勤3名)を任用し、35人学級を実現した。ただし、7月に常勤講師1名が自己都合退職したため、代わりに非常勤講師1名を任用した。 実施校：新城中(中3)、東郷中(中3)、八名中(中2)
	下半期	ほぼ順調	引き続き、対象の3校で市費講師(常勤2名、非常勤4名)を任用。学校からはきめ細かな指導や教員の負担軽減につながっているとの報告を受けている。
令和5年度	上半期	順調	対象となった市内4中学校で市費講師8名(常勤4名、非常勤4名)を任用し、35人学級を実現した。 実施校：新城中(中3)、千郷中(中2)、東郷中(中2)、八名中(中3)
	下半期	順調	引き続き、対象の4中学校で市費講師8名(常勤4名、非常勤4名)を任用。学校からは、学習面でも生活面でもきめ細やかな指導ができており、教員の負担軽減につながっているとの報告を受けている。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

## 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	4	次世代が夢と希望を持てるまち 【教育・子育て支援を充実させ、次世代の郷土愛を育む】				
提案	2	学校給食費の負担軽減と無償化への取り組みを進めます				
具体的な政策内容	給食費を公金化するとともに、給食費の保護者負担額の軽減（無償化）を目指します。					
担当課	教育総務課	SDG s				
評価指標（KPI）	①学校給食費の公会計化 ②学校給食費の保護者負担額の軽減（無償化）の実施					
当初現状値	0%					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	①	0%	0%	100%	100%	
	②	10%	10%	10%	100%	
実績値	①	0%	0%	—	—	
	②	5%	40%	—	—	
実施内容	①案の策定	計画				
		実績				
	①教育委員会会議承認・学校周知	計画				
		実績				
	①公金化に向けた切替準備	計画				
		実績				
	①公金化開始 【共同調理場稼働に合わせ】	計画				
		実績				
	②負担軽減（無償化）実施に向けた方策の検討	計画				
		実績				
②内部調整	計画					
	実績					
②取組開始	計画					
	実績					
実施内容に対応する具体的な内容	<p>【公金化】                      現在給食費は、集金から支払いまで全てを学校のみで完結（※1）しているが、令和6年9月の共同調理場稼働後では、食材発注・納入業者への支払いが一元化されるため、給食費の流れを再編、給食提供に係る経費を予算化（※2）することで、適正な給食費の流れを実現する。                      （※1） 保護者→各学校の口座→学校毎の納入業者へ支出                      （※2） 歳入（保護者→各学校の口座→学校が市へ給食費を納入）／ 歳出（納入業者へ支出）</p> <p>【負担軽減（無償化）】                      経済的理由によって就学困難な児童・生徒の保護者に対し、現在援助（就学援助：全児童生徒数の約10%）を実施しているが、更なる子育て世代の負担軽減を図る事を目的として、小中学生の保護者が負担する給食費の負担軽減（無償化）に取り組む。</p>					

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	①学校給食費の公会計化 令和4年6月10日付けで、次のとおり基本方針を定めた。(令和6年9月から当分の間、給食費はこれまでどおり学校で徴収し、学校から市へ振り込むことで公会計化を図ることとし、学校等関係各所と協議を進める。) ②学校給食費の保護者負担額の軽減(無償化)の実施 令和4年11月から令和5年3月までの保護者が負担する学校給食費等を市が補助金として申請があった給食運営管理者又は保護者へ補助を行うことと決定した。
	下半期	やや遅延	①(遅延) 公金化の流れなどの整理・検討を優先して実施したため、周知等は未着手。改めて次年度に行う。 ②他市の状況確認及び課内検討を行った。
令和5年度	上半期	ほぼ順調	①学校給食費の公会計化 5/25の教育委員会会議、5/29の校長会で公会計化に係る説明を実施、7/11に庁内関係部署と内部会議を開催し周知等を実施した。また学校に対し私会計の状況調査を実施し課題整理と方針決定の準備を進めた。 ②学校給食費の保護者負担額の軽減(無償化)の実施 市長・副市長へ方針案を提示し、今後の検討を行った。
	下半期	ほぼ順調	①12/22教育委員会、1/11校長会にて公会計化に伴う給食費の徴収等に関する説明の実施、2/20の教育委員会、3/21校長会で統一給食費の説明を実施した。また、保護者に給食費などを周知するためのチラシを作成した。 ②10月から3月までの給食費について、1食60円の補助を行った。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定			評価コメント

市長マニフェスト 取組状況報告書

目標	4	次世代が夢と希望を持てるまち 【教育・子育て支援を充実させ、次世代の郷土愛を育む】			
提案	3	外国籍児童生徒への日本語教育を支援します			
具体的な政策内容	日本語初期指導教室の運営を軌道に乗せ、必要な生徒の受け入れ態勢の充実を図ります。				
担当課	学校教育課	SDG s			
評価指標 (KPI)	日本語初期指導教室入室希望者の、入室受け入れ率				
当初現状値	令和3年度：入室受け入れ率 100% 令和3年度：入室希望者13人、内13人入室				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値		100%	100%	100%	100%
実績値		100%	100%	—	—
実施内容	日本語初期指導を必要とする児童生徒全員の把握	計画			
		実績			
	日本語初期指導教室の教育環境の充実	計画			
		実績			
		計画			
		実績			
		計画			
		実績			
	計画				
	実績				
実施内容に対応する具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語初期指導を必要とする児童生徒が日本語初期指導教室「きぼう」に入室できるように、教育委員会がコーディネーターとなり、手続きを行う。</li> <li>・日本語初期指導に必要な書籍や教材、多言語翻訳機等の機器を準備し、よりきめ細やかに対応できるように教育環境の充実を図る。</li> </ul> <p>令和4年度 希望する児童生徒全員の入室、書籍・教材の購入、多言語翻訳機等の機器購入検討          令和5年度 希望する児童生徒全員の入室、書籍・教材の購入、機器等購入せず、タブレット端末で対応          令和6年度 希望する児童生徒全員の入室、書籍・教材の購入、機器等購入せず、タブレット端末で対応          令和7年度 希望する児童生徒全員の入室、書籍・教材の購入</p>				

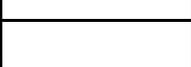
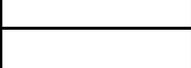
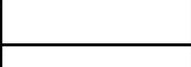
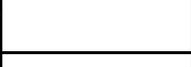
実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	ブラジルから初入国のため日本語が全くわからない児童1名が新たに転入し、合計8名が日本語初期指導教室「きぼう」へ入室して指導を受けている。指導に必要な書籍や教材を購入し、効果的な指導ができるように努めている。
	下半期	ほぼ順調	初入国の児童3名（ブラジル2名、フィリピン1名）に対し、転入手続き時に日本語初期指導教室「きぼう」を紹介し、希望者全員が入室して指導を受けることができた。年間で合計11名の入室希望があり、11名全員が入室して指導を受けることができた。多言語翻訳機はタブレット端末で対応できるため、新たに購入しないこととした。
令和5年度	上半期	順調	ブラジルから再入国の児童2名、中国から初入国の児童1名、ブラジルから入国間もない児童2名の合計5名が新たに日本語初期指導教室「きぼう」へ入室して指導を受けている。昨年度から引き続き入室している児童を含め、合計8名が在籍している。指導に必要な書籍や教材を購入し、効果的な指導ができるように努めている。
	下半期	順調	新たに2名の日本語初期指導を必要とする児童生徒が転入し、日本語初期指導教室「きぼう」に入室して2名の支援員よりそれぞれの日本語レベルや生活の適応に応じたきめ細やかな指導を受けている。在籍は10名となったが、希望者全員に対応することができている。子どもたちに応じた教材等を用意することで、日本の生活に少しずつ適応することができるようになっている。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

# 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	4	次世代が夢と希望を持てるまち 【教育・子育て支援を充実させ、次世代の郷土愛を育む】				
提案	4	障がい児教育や療育の充実のため、専門家会議設置の必要性を精査します				
具体的な政策内容	専門家会議設置を視野に入れて、保護者の安心につながるよう体制を強化します。					
担当課	児童養育支援室・学校教育課	SDG s				
評価指標 (KPI)	①保護者満足度 ②自立支援協議会児童部会の開催回数					
当初現状値	①70% (令和4年度) ②年6回 (1回/2か月)					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		①	—	100%	—	—
		②	—	—	6回	6回
実績値		①	70%	96%	—	—
		②	—	—	—	—
実施内容	既存の会議の利用を含めて事業の状況調査・整理	計画				
		実績				
	会議のあり方についての方針の協議	計画				
		実績				
	保護者アンケート実施・評価	計画				
		実績				
	会議等の開催	計画				
		実績				
	計画					
	実績					
実施内容に対応する具体的な内容	<p>・関連する既存の会議として、「新城市教育支援委員会」と「入園支援委員会」がある。教育委員会が実施している「新城市教育支援委員会」は、新城市教育支援委員会条例に基づき、心身に障がいをもつ児童生徒への適切な支援を図るために実施しているもので、主に小学校、中学校、特別支援学校への就学に関するものを審議している。また、こども未来課が実施している「入園支援委員会」は、障がいや発達特性が疑われる児への適切な入園支援を図るため実施している。</p> <p>これら共通する参加者で構成される新たな会議体を設立して療育充実に向けた取組みを実施することも考えられる他、本市における他の会議体についても情報収集しながら、障がい児教育や療育充実のため、より実効性のある進め方を検討する。</p> <p>・専門家会議設置の必要性を精査するため、おおぞら園等の療育経験のある保護者にアンケートを実施して状況の把握を行う。</p> <p>・障害児教育や療育に関しては、個別の対応が必要となる。上記会議に加え、自立支援協議会児童部会が2か月に1回開催されている。児童部会にも保健・医療・福祉・教育関係者が参加し個の対応はもちろんそこから地域課題としての対応も検討されている。この会議においても体制強化を図っていく。(令和6年6月追加、評価指標変更)</p>					

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	遅延	新城市教育支援委員会を11月に、また、入園支援委員会を1月に開催するよう調整している。なお、個別に児童や保護者への相談活動を進めているが、ニーズを把握するための保護者アンケートの実施が遅延している。
	下半期	ほぼ順調	令和4年11月から12月まで、新城市療育体制の充実に向けた保護者アンケート調査を実施する。KPI（サービスの満足度）の現状値を70%と設定する。令和5年1月12日、「入園支援委員会」における、アンケート調査の結果を踏まえた意見聴取。令和5年2月21日、学校教育課及び児童養育支援室による協議。令和5年2月24日、新城市地域自立支援協議会児童部会における状況報告。令和5年3月8日、学校教育課及び児童養育支援室による協議。その後、専門家会議のあり方についての考え方を次のとおりまとめる。 新たな専門家会議の設置は行わず、既存の新城市地域自立支援協議会の児童部会を継続して実施し、部会の中で「障がい児教育や療育の充実」に向けて取り組んでいくこと。また、必要に応じて、こども未来課主催の入園支援委員会の他、学校教育課主催の教育支援委員会で地域課題として議題に挙げることで、専門家による協議や助言の場として活用していく。
令和5年度	上半期	ほぼ順調	既存の会議において、障がい児のための療育や教育等を専門職等により個別支援を含め地域課題においても定期的に検討している。 保護者アンケートについて検討中。
	下半期	順調	令和6年2月26日～3月8日の間、おおぞら園及びこども園等と特別支援学級・学校に通園・通学する保護者アンケートを実施し満足度を図った。回答率は、56.4%で 満足・ほぼ満足は、園97% 小92.6% 中81.3%だった。また、入園・入学後の相談もほぼ出来ているという結果だった。今後も既存の会議を活用し必要な関係機関との連携を強化するなど障害児教育や療育の充実を図っていく。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

# 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	4	次世代が夢と希望を持てるまち 【教育・子育て支援を充実させ、次世代の郷土愛を育む】				
提案	5	高等教育機関への進学を目指す生徒に対する奨学金制度の導入に取り組みます				
具体的な政策内容	給付型・貸与型・利子補給型等の各種奨学金制度の導入に向けて取り組みます。					
担当課	企画調整課・産業政策課		SDGs			
評価指標 (KPI)	①奨学金利用学生数 ⇒ 令和6年度より愛知県で実施するため③へ移行 ②新しい制度設計の決定、運用 ⇒ 令和6年度より新しい市独自の制度設計のための調査・検討 ③令和6年度以降、愛知県奨学金返還制度の登録事業所数					
当初現状値	①0人【令和3年度末現在】 ②0%【制度設計の進捗率、維持継続】 ③0社【令和5年度末現在】					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		①	—	—	10人	10人
		②	50%	100%	30%	60%
		③	—	—	5社	8社
実績値		①	—	—	—	—
		②	10%	30%	—	—
		③	—	—	—	—
実施内容	他市の状況調査・整理	計画				
		実績				
	基本的な方針の協議	計画				
		実績				
	制度案検討	計画				
		実績				
	制度決定	計画				
		実績				
	予算要求、条例等の制定	計画				
		実績				
奨学制度開始	計画					
	実績					
意識調査・検討	計画					
	実績					
事業所への周知	計画					
	実績					
実施内容に 対応する具 体的な内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業（製造業等）の新卒大学生採用状況などの聞き取り調査をはじめ、大学生への聞き取りや近隣他市の状況調査を実施する。</li> <li>・調査内容を踏まえ、制度の有効性等を検討し基本的な方針を協議した上で制度を決定する。</li> <li>・奨学金返還支援の制度開始に向け、必要な条例等の整備、運用方法策定、予算計上などを進める。</li> <li>・奨学金返還支援の制度開始に向け、対象となる方へのPRを実施する。</li> <li>・中小企業等の人材確保、若者の就職支援と幅広くサポートできるよう努める。</li> <li>・令和6年度より、愛知県が奨学金返還制度を創設する。その際、愛知県へ企業側が事前に事業者登録をする必要があることから、事業者登録数の増加に努める。</li> </ul>				

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業への大学生採用状況を聴き取り調査中。</li> <li>大学生（就職活動する4年生対象）への就職活動における奨学金返還制度の影響について意識調査中。</li> </ul>
	下半期	やや遅延	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業（29社）へ大学卒業生の求職状況や奨学金返済一部支援についての意向調査済み。</li> <li>就職活動をした大学生が、内定をもらった企業のうち最終的に入社を決断する際に奨学金返還制度が影響するかの調査を実施し、6%が影響を受ける結果となった。</li> </ul>
令和5年度	上半期	遅延	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度の調査を参考に担当部署で打ち合わせを行った。大学生と企業の意見を踏まえ、令和6年度からの制度開始は見送ることとするが、引き続き、対象となる若者と企業の意向把握に努めていく。</li> </ul>
	下半期	業務見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度より愛知県において奨学金返還制度を創設するため、早期での市単独制度導入は保留とする。</li> <li>令和6年2月11日に開催した「新城しごと展」参加企業10社へ奨学金返還制度の説明と企業登録の依頼を行った。</li> <li>継続して若者及び企業側の意識調査を行っていく。</li> </ul>
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

市長マニフェスト 取組状況報告書

目標	4	次世代が夢と希望を持てるまち 【教育・子育て支援を充実させ、次世代の郷土愛を育む】			
提案	6	新城版GIGAスクール構想の実現に向けて取り組みます			
具体的な政策内容	ICTの活用により可能となる、新城の三宝（人・歴史文化・自然）を生かした独自の教育プログラムの構想を検討します。				
担当課	学校教育課	SDGs			
評価指標 (KPI)	Web会議システムを活用した小規模小学校間の交流授業の実施時間数 (R5以降「Web会議システムを活用した学校間の交流授業の実施時間数」に変更。また、目標値の時間をR5 100、R6 200、R7 200からR5 80、R6 100、R7 100に変更)				
当初現状値	令和3年度実績：0時間				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値		年間50時間	年間80時間	年間100時間	年間100時間
実績値		年間12時間	年間108時間	—	—
実施内容	鳳来地区3小学校	計画			
		実績			
	八名地区2小学校	計画			
		実績			
	学校間の交流授業 (R5～)	計画			
		実績			
		計画			
		実績			
		計画			
		実績			
	計画				
	実績				
実施内容に対応する具体的な内容	<p>・鳳来地区3校（鳳来寺小、鳳来東小、黄柳川小）および八名地区2校（庭野小、八名小）において、Web会議システム（Zoom）を活用した交流授業を実施する。          令和4年度 鳳来地区5・6年生、八名地区1年生で実施          令和5年度 両地区とも対象学年を拡大          令和6年度 両地区とも全校で実施          令和7年度 両地区とも全校で実施</p> <p>【令和5年度以降に向けての修正案】          鳳来地区3校の小規模校間の交流だけでなく、以下の取り組みを行う          ①隣接する中規模校（東陽小、鳳来中部小）と交流授業を行うことで、より多様な考えに触れる機会を設ける。          ②三宝を活用した地域学習（社会科、生活科、総合的な学習の時間等）の成果について、他地区（新城、作手）の学校と発表し合う場を設ける。          ※ ②については、希望する学校をマッチングするための体制を整える。（CESS回覧板の活用等）</p>				

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	やや遅延	八名地区においては全学年で1回ずつ計4回（4時間）、6年生の外国語活動において3回（3時間）実施した。 鳳来地区においては、交流相手校について、現在調整中である。
	下半期	遅延	八名地区において2回（2時間）、鳳来地区においては3回（3時間）実施した。 鳳来地区については、小規模校同士だけでなく、中規模校との交流を望む声があるため、学校間交流のあり方について検討し、よりよいものに修正していきたい。
令和5年度	上半期	順調	鳳来地区、東郷地区、八名地区において、小学校6年生を対象とした外国語での自己紹介による交流を実施した。小規模校同士だけでなく、中規模校や市外の学校、海外とのやりとりも目立つようになってきた。また、オンライン交流に向けての充実した教育活動が展開されている。市内オンライン交流の時間は、合計66時間である。
	下半期	順調	市内オンライン交流の時間は、新城地区21時間、鳳来地区15時間、作手地区6時間の合計42時間となった。内容としては、市内の小学生が生活科の学習で学んだ地元の様子を交流したり、県外の小学校とそれぞれの地域の良さを伝えた活動を行ったりするものがあり、活動の幅も広がっている。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

# 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	4	次世代が夢と希望を持てるまち 【教育・子育て支援を充実させ、次世代の郷土愛を育む】			
提案	7	若者の就職支援に力を入れます			
具体的な政策内容	市内企業の情報発信や、企業見学・職場体験ツアーなどを行うとともに、県の移住支援金制度も活用し、若者の就職支援に力を入れます。				
担当課	企画調整課・産業政策課		SDG s		
評価指標 (KPI)	就職・移住に係る支援制度の活用件数				
当初現状値	0件				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値		0件	0件	5件	10件
実績値		—	2件		
実施内容	新たな支援策の検討・見直し	計画			
		実績			
	予算要求	計画			
		実績			
	制度決定	計画	●		
		実績	●		
	新たな支援策実施	計画			
		実績			
	PR	計画			
		実績			
	計画				
	実績				
実施内容に対応する具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年行っている高校生を対象とした企業説明会等を継続実施するとともに、地元企業の情報を市ホームページ等を活用して周知する。</li> <li>・ワーケーション等多様な働き方があるため、創業支援に係る制度を検討し、予算計上等を進める。</li> <li>・移住支援金制度について、活用実績が無い。理由の一つとして登録企業数が少ないことから、登録企業数の増加に努める。</li> <li>・定住ポータルサイトやイベント等で就業に関する情報を周知し、U I Jターン（起業者含む）に繋げる。</li> <li>・新城市雇用創造協議会と連携を図り、若者の就職に必要なスキルアップや、企業側の雇用創造に繋がるセミナーやイベントを開催する。</li> </ul>				

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年3月に高校生対象の企業説明会開催に向け調整中。</li> <li>・創業支援に係わる制度について、従来はソフト面の支援だったが、ハード面への支援について検討中。</li> <li>・移住支援金制度の登録企業数が2社追加。</li> </ul>
	下半期	順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年3月17日に高校生対象の企業説明会を実施。</li> <li>・新城市雇用創造協議会と連携し、スキルアップセミナーや企業見学会等を実施。SNS等で情報発信した。</li> <li>・市移住定住ポータルサイトで就業（「働く」）ページを作成。</li> <li>・創業支援に係わる新たな補助制度を検討し、予算措置を行った。</li> </ul>
令和5年度	上半期	順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度より新城市創業支援等事業補助金を再整備し運用開始。</li> <li>・令和5年6月18日に新城市雇用創造協議会と連携し、新城しごと展を開催した。市内企業のPR、就業相談等を行った。その他、スキルアップセミナー等を実施し、SNSを積極的に活用して情報発信も行った。</li> <li>・移住支援金制度の登録企業数が1社追加。</li> </ul>
	下半期	順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年2月11日に新城市雇用創造協議会と連携し、新城しごと展を開催した。市内企業のPR、就業相談等を行った。同時に、参加企業10社へ移住支援金登録の説明を行った。</li> <li>・同協議会主催でスキルアップセミナー等を実施し、SNSを積極的に活用して情報発信も行った。</li> <li>・移住支援金制度の登録企業数が1社追加。</li> <li>・令和6年度より、移住支援金制度に地方就職学生支援事業（就職活動時の交通費補助）が新設されるため、本市も支給対象となるよう愛知県と調整した。</li> </ul>
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

# 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	5	人が集まる元気なまち 【地域資源を最大限生かし、まちの活力につなげる】			
提案	1	林業従事者の定着促進と育成に取り組みます			
具体的な政策内容	森林環境譲与税を活用し、定着促進奨励金の支給を検討します。				
担当課	森林課	SDG s			
評価指標 (KPI)	制度利用事業体数				
当初現状値	0箇所 (令和3年度末現在制度なし)				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値		0箇所	1箇所 (利用事業体数)	2箇所 (利用事業体数)	4箇所 (利用事業体数)
実績値		—	3箇所 (利用事業体数)	—	—
実施内容	他事例の情報収集・検討 制度案策定	計画	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #0070C0;"></div>		
		実績	<div style="width: 25%; height: 10px; background-color: #FFC000;"></div>		
	予算要求	計画	<div style="width: 25%; height: 10px; background-color: #0070C0;"></div>		
		実績	<div style="width: 25%; height: 10px; background-color: #FFC000;"></div>		
	制度開始・周知・実施	計画		<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #0070C0;"></div>	
		実績		<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #FFC000;"></div>	
	制度実施	計画			<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #0070C0;"></div>
		実績			<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #0070C0;"></div>
制度検証・見直し	計画			<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #0070C0;"></div>	
	実績			<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #0070C0;"></div>	
見直し後制度実施	計画				<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #0070C0;"></div>
	実績				<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #0070C0;"></div>
実施内容 に対応する 具体的な 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業体へのヒアリング、他制度、先進事例等の情報収集を行いながら、この地域の林業従事者が定住するために何を必要としているかニーズを明らかにし、ニーズに合った、事業体を対象とした奨励金制度を検討、策定する。</li> <li>・令和5年度には制度の利用を開始する。それに向けた予算の準備、市内事業体への周知などを行う。</li> <li>・令和6年度には制度が実状に合っているか検証し、必要であれば見直しを行う。</li> </ul>				

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	順調	林業従事者の定着促進の支援事業を行っている先進自治体や、市内の事業者のうち育成事業体にアンケートを実施し、その回答を元に来年度から実施する奨励金制度の要綱整備に取りかかり、補助金の予算を計上した。
	下半期	順調	新城市林業従事者奨励補助金の予算を計上し、補助金交付規則を策定し、5年度実施の準備を終えた。
令和5年度	上半期	ほぼ順調	4月以降補助要綱の制定のお知らせと制度の説明を兼ねて対象経営体を直接訪問した。現在までに支払い実績はまだないが、対象4経営体のうち3経営体から申請や申請の意向などの連絡を受けている。
	下半期	順調	3月末現在で従業員への家賃補助、研修負担金補助及び社会保険料事業主負担について、3経営体から総額1,943千円の補助金申請を受け、交付を実施。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

# 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	5	人が集まる元気なまち 【地域資源を最大限生かし、まちの活力につなげる】				
提案	2	新たな高収益作物の生産に向けた研究をします				
具体的な政策内容	J A や研究機関と共同で、新たな高収益作物の生産に向けた研究をします。					
担当課	農業課	SDG s	 8 働きがいも経済成長も	 9 産業と地域資源の統合につなげる		
評価指標 (KPI)	①新たな高収益作物の選定数 ②試験栽培の実施数					
当初現状値	①－ ②－					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		①	0品目	0品目	0品目	1品目
		②	0回	1回	1回	1回
実績値		①	0品目	0品目	－	－
		②	0回	0回	－	－
実施内容	作物の研究	計画				
		実績				
	試験栽培の実施	計画				
		実績				
	農業経営モデルの作成	計画				
		実績				
		計画				
		実績				
	計画					
	実績					
実施内容に対応する具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市での栽培に適した、所得率の高い作物の生産に向けた研究。 既に栽培されている作物について、収益向上を見込むことができる作物の栽培方法の研究。 有効活用されていない農畜産物（未利用資源）の活用についての研究。</li> <li>・新たな奨励品目として、認定新規就農者となることが可能な農業所得を目標とした経営モデルを作成し、新規就農者の確保に繋げる。</li> </ul>					

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	既に栽培されている作物について、収益向上を見込むことができる作物としてブドウをモデル作物として、その栽培方法の研究を開始。
	下半期	ほぼ順調	新規でブドウを栽培するにあたり、課題となる初期投資の軽減や早期成園化の栽培方法について、関係機関と協力し研究を継続。
令和5年度	上半期	やや遅延	経営モデルの研究は継続中。 試験栽培は令和6年度に新規でブドウ栽培を開始する方をモデルとするため、実施時期を令和6年4月とする。 未利用資源の活用についての研究として、鳳来産の梅を活用したクラフトビールの試作品を製造し、試飲会及びアンケートにて市場調査を実施中。
	下半期	やや遅延	経営モデルの研究は継続中。 鳳来産の梅を活用したクラフトビールの試作品を製造し、試飲会及びアンケートによる市場調査を実施。また、新たな試作品について研究を継続。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

市長マニフェスト 取組状況報告書

目標	5	人が集まる元気なまち 【地域資源を最大限生かし、まちの活力につなげる】			
提案	3	地域資源を生かした新城ツーリズム（食・自然・歴史・スポーツ・健康・温泉）を推進します			
具体的な政策内容	地域資源のポテンシャルを最大限引き出し、経済効果につながるアクションプランを実施します。				
担当課	観光課	SDG s			
評価指標 (KPI)	①本市への観光入込客数 ②本市への宿泊者数				
当初現状値	①本市への観光入込客数 年間248万人（令和3年度） ②本市への宿泊者数 年間9万人（令和3年度）				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	①	250万人	300万人	300万人	330万人
	②	9万人	10万人	10万人	11万人
実績値	①	229万人	242万人	—	—
	②	10万人	10万人	—	—
実施内容	新城ツーリズムの推進	計画			
		実績			
	”じてんしゃのまち新城”の定着	計画			
		実績			
	持続可能な観光イベントの実施	計画			
		実績			
	観光プロモーション活動と多様な情報発信	計画			
		実績			
武将観光の推進	計画				
	実績				
地域プロジェクトマネージャー・協力隊の活用	計画				
	実績				
	計画				
	実績				
実施内容に対応する具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源をつなぎ合わせたガイドツアーの開発や地域住民と連携した第1次産業の体験型商品の開発</li> <li>・令和8年開催の「第20回アジア競技大会」自転車ロードレースを見据えた環境整備</li> <li>・新城さくらまつり、長篠合戦のぼりまつり、新城納涼花火大会、鳳来寺山もみじまつりの実施と持続的なイベント運営方法の検討</li> <li>・ラリージャパン、AACACUP、フォトロゲイニング等スポーツイベントの継続的な実施</li> <li>・徳川家康をテーマとした武将観光の推進と広域連携</li> </ul>				

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	サイクルツーリズムにおいては地域プロジェクトマネージャーによりプロロードレースチームと連携したイベント等の開催を行った。 既存観光イベントも従前のおり開催をしている。 武将観光（家康）については愛知県、東三河、岡崎市及び浜松市とも連携したプロジェクトも計画されている。
	下半期	ほぼ順調	観光イベントでは従前の形で「鳳来寺山もみじまつり」を開催した。 また、スポーツツーリズムにおいては11月に「ラリージャパン」の初開催、3月には4年ぶりの有観客の開催となった「新城ラリー2023」、「OSJ新城トレイルレース」等、本市に賑わいをもたらした。 また、大河ドラマの放映に備え、「家康ゆかりの地」のぼり旗を作成し武将観光のきっかけとなる取組を行った。
令和5年度	上半期	ほぼ順調	さくらまつり、のぼりまつり、花火大会についてはコロナ以前の実施方法により開催した。 また、新城市観光協会の一般社団法人化に伴い、今後のイベント実施に向けた連携協力体制についての検討を進めた。大河ドラマの放映に併せ出演者によるスペシャルトークショーを開催し全国から約1,200人の来訪があった。スポーツツーリズムの推進については、新城ラリーの中止が決定されたが、新たな取り組みとしてJBCF（全日本実業団自転車競技連盟）の公式シリーズ戦が9月に開催されたほか、トレイルランニング、フォトロゲイニングなどの開催を支援した。
	下半期	ほぼ順調	観光イベントでは従前の形で「鳳来寺山もみじまつり」を開催した。 また、スポーツツーリズムにおいては11月に2年目となる「ラリージャパン」を開催し、2月には「新城ラリー大感謝祭」を開催した。また、「OSJ新城トレイルレース」等、本市に賑わいをもたらした。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定			評価コメント

## 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	5	人が集まる元気なまち 【地域資源を最大限生かし、まちの活力につなげる】			
提案	4	中山間地における企業のテレワークやワーケーションを誘致します			
具体的な政策内容	テレワークやワーケーションを誘致することにより、地域経済の振興につなげます。				
担当課	産業政策課・観光課	SDG s			
評価指標 (KPI)	テレワーク (ワーケーション) 取り組み事業者数				
当初現状値	—				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値		—	1社	2社	2社
実績値		9社 (14人)	10社 (12人)	—	—
実施内容	基礎調査	計画			
		実績			
	R5予算化、支援制度検討	計画			
		実績			
	試行	計画			
		実績			
	施設整備	計画			
		実績			
	事業実施	計画			
		実績			
	計画				
	実績				
実施内容に対応する具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホテル、旅館事業者へニーズ調査、希望調査の実施。</li> <li>・テレワーク、ワーケーションを検討している企業への要望ヒアリングの実施。</li> <li>・調査等を基にした支援策の検討。</li> <li>・市への呼び込み企画として、お試しワーケーションに対する宿泊費補助を1年度限定で実施。</li> <li>・ホテル、旅館事業者の施設改修への支援を実施。</li> <li>・公共施設でのテレワーク、ワーケーション活用の可能性を検討。</li> </ul>				

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	研修型ワーケーションモデルの企画を行い、厚生労働省の地域雇用活性化推進事業において、11月18～19日にやまびこの丘でモニターツアーを開催予定。
	下半期	ほぼ順調	11月に開催したモニターツアーによるワーケーションプログラムを実施し、アンケート調査を実施した。 本市における「自然環境」や「体験プログラム」については一定の評価を得たものの、やまびこの丘における「インフラ環境」や「設備面」の改善要望など、受け入れに際しての課題を明らかにすることができた。
令和5年度	上半期	ほぼ順調	研修型ワーケーションモデルの企画を行い、厚生労働省の地域雇用活性化推進事業において、12月8～9日に湯谷温泉にてモニターツアーを開催予定。
	下半期	ほぼ順調	12月8～9日に12名を参加者として招いて実施。前年度はアクティビティを重要視して実施したが、今年度はより市独自のプログラムを意識した。 具体的には、「地元企業との交流」と「地域課題の解決志向の醸成」をテーマにしたワークショップを実施。継続的なワーケーション実施に向けての課題について知ることができた。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

## 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	5	人が集まる元気なまち 【地域資源を最大限生かし、まちの活力につなげる】				
提案	5	発注や契約において地元事業者を優先します				
具体的な 政策内容	地元事業の応援と市内経済の活性化のため、発注業務は地元事業者を優先します。					
担当課	財政課	SDG s				
評価指標 (KPI)	指名競争入札案件で当該業種を希望する業者が市内にある場合、指名業者の中に当該市内業者を含める率					
当初現状値	94%					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		100%	100%	100%	100%	
実績値		94%	94%	—	—	
実施内容	他市の状況調査・整理	計画				
		実績				
	条例案、基準案検討	計画				
		実績				
	公契約条例制定	計画			●	
		実績				
	随意契約案件地元事業者 優先発注の徹底	計画				
		実績				
		計画				
		実績				
	計画					
	実績					
実施内容 に対応する 具体的な 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在も可能な限り指名業者の中に市内事業者を含める取組みを実施しており、今後も継続して取り組んでいく。</li> <li>・ 予算根拠資料とするための見積徴取については、できる限り市内事業者から徴取するよう全庁各課（室）へ周知を行う。</li> <li>・ 公契約条例の制定を目指し、公共調達における地元企業優先発注についても基準を明らかにすることで本市における地元事業者優先発注、市内事業者育成の取組みをPRする。</li> <li>・ 条例及び発注基準を運用することで、各課が独自に契約している案件についても地元事業者優先発注を徹底させるよう取り組む。</li> </ul>					

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	順調	7市契約事務担当者会議（東三河5市+岡崎市、湖西市）も3年ぶりに開催され、近隣他市の動向を掴むことができた。また、指名競争入札の業者選定では地元業者の受注機会の増大を意識して実施することができている。
	下半期	順調	他市の公契約条例の制定状況及び、公契約条例に関する情報を収集することができ、市内事業者の一部ではあるが公契約条例に対する反応をヒアリングすることができた。
令和5年度	上半期	順調	昨年度に引き続き7市契約事務担当者会議が開催されており、近隣他市との関係性も強くなったため、条例制定の情報だけでなく、制定後の運用についても情報収集を進める。業者選定では常に市内事業者の育成、受注機会の拡大を念頭に置き取り組むことが出来ている。
	下半期	順調	適正な随意契約の理解を深めるため、全庁に向けて研修を行った。業者選定は常に市内業者の育成、受注機会の拡大を念頭に置き取り組むことが出来ている。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

## 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	5	人が集まる元気なまち 【地域資源を最大限生かし、まちの活力につなげる】				
提案	6	スマートインターチェンジの早期供用と周辺地域の振興策に取り組みます				
具体的な政策内容	スマートインターチェンジを新たな交流・交通の玄関口と位置づけ、周辺地域の振興策に取り組みます。					
担当課	道路政策推進室・市民自治推進課	SDG s				
評価指標 (KPI)	スマートインターチェンジの早期供用開始を目指す。 周辺地域の振興策の取組み推進。					
当初現状値	0%					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		5%	25%	55%	75%	
実績値		5%	25%	—	—	
実施内容	スマートIC 調査・設計	計画				
		実績				
	スマートIC 用地買収・物件補償	計画				
		実績				
	スマートIC 工事	計画				
		実績				
	地域振興策 意見の集約	計画				
		実績				
	地域振興策 庁内検討・まとめ	計画				
		実績				
地域振興策 取組み推進	計画					
	実績					
	計画					
	実績					
実施内容 に対応する 具体的な 内容	<p>【スマートICの早期供用】 共同事業者の豊橋市及び中日本高速道路(株)東京支社と連絡を密にし、協定書締結による相互の役割分担と協力体制を確立。 設計及び工事は、中日本高速道路(株)東京支社が行う。本市の費用負担範囲は、スマートIC 上り線料金所から現道まで。</p> <p>【地域振興策の取組み推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振興策について、地域の意見を聴く。また、豊橋市と情報共有。</li> <li>・振興策を検討するため、庁内プロジェクトチームを発足。</li> <li>・地域意見及び振興策案について、関係部署において、実現性、法的担保、効果等を検討。</li> <li>・関係部署による取組み推進。</li> </ul> <p>※目標値については、本市が負担するスマートIC総事業費(予定)に対しての各年度末実行額(予定)の割合にて算出。</p>					

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	スマートICの詳細設計については、共同事業者のNEXCOと豊橋市と連携して具体的な内容を協議し順次決定している。 振興策については、庁内若手職員で構成するプロジェクトチームを立ち上げ、これまで2回(7月26日と9月21日)会議を開催し候補案について検討している。また、八名地域協議会において、市へ提言する振興策案を検討している。
	下半期	ほぼ順調	スマートIC工事の実施に向け、詳細設計・用地測量を完了した。 周辺振興策は、庁内若手職員で構成するプロジェクト会議を6回(全体会議4回、班会議2回)開催し、R5年3月に「周辺地域振興策検討概要(報告書)」を作成。また、R5年2月27日に八名地域協議会より、市へ「周辺振興策についての提案書」を提出。
令和5年度	上半期	ほぼ順調	スマートICについては、今年度から実施予定の用地買収・物件補償に向け、NEXCOと豊橋市と連携・協議し、物件調査・土地評価業務を現在実施している。 振興策については、庁内課長級職員で構成するプロジェクトチームを立ち上げ、これまで3回会議(全体1回・個別等2回)を開催し、都計・農業関連の法的事項等の整理を行うと共に民間事業者の意向を把握するための市場調査を行っている。
	下半期	ほぼ順調	スマートICについては、NEXCOと豊橋市と連携・協議し、物件調査・土地評価業務を実施し、用地買収・物件補償に着手した。 振興策については、庁内課長級職員で構成するプロジェクトチームでの検討や民間事業者の意向を把握するための市場調査を行い、地域活性化構想(案)をとりまとめた。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

# 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	5	人が集まる元気なまち 【地域資源を最大限生かし、まちの活力につなげる】				
提案	7	八束穂の事業用地利用計画の道筋を示します				
具体的な政策内容	地区計画策定や事業化スケジュールを明確にし、企業誘致等による地域の振興策につなげます。					
担当課	用地開発課	SDG s	  			
評価指標 (KPI)	新城IC企業団地2期事業の計画策定、造成工事を実施し分譲を完了する。					
当初現状値	0%					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		5%	11%	20%	45%	
実績値		5%	11%	—	—	
実施内容	基本計画策定	計画				
		実績				
	地区計画策定・決定	計画				
		実績				
	詳細設計・用地買収	計画				
		実績				
	事前協議・開発許可申請	計画				
		実績				
	造成工事	計画				
		実績				
	広告	計画				
		実績				
	分譲	計画				
		実績				
実施内容に対応する具体的な内容	<p>【令和4年度】 事業用地(旧養鶏場跡地及び三遠南信自動車道建設残土処理用地)を含めた周辺区域について現況調査を行い基本計画を策定します。具体的には、概略設計の実施、概算事業費の算出、事業主体の決定など、開発シナリオを検討する。地区計画策定協議。</p> <p>【令和5年度】 地区計画策定(R7上旬)、開発許可申請事前協議、実施設計(詳細)業務委託(R6年度繰越)</p> <p>【令和6年度以降】 用地買収(R5からR6へ実施年度を変更)、広告開始(R5からR7へ実施年度を変更)、開発許可申請(R6からR7中旬) 造成工事(R7下旬~R9中旬)、分譲開始(R7)、分譲完了(R9)</p> <p>※目標値については総事業費(最新の想定)に対しての各年度末までの実行予算(最新の想定)の割合にて算出。</p>					

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画策定業務委託契約（5月）</li> <li>庁内関係課長打合せ（5月）…事業経過、今後のスケジュール</li> <li>企業庁打合せ（6月）…企業庁への開発調整</li> </ul>
	下半期	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>政策検討会議（10月）…事業規模の検討</li> <li>市政経営会議（11月）…事業規模の決定</li> <li>基本計画策定完了（3月）</li> <li>地区計画策定業務委託契約（3月）</li> </ul>
令和5年度	上半期	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施設計業務委託契約（6月）</li> <li>開発許可申請事前協議（随時）</li> </ul>
	下半期	ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区計画策定業務委託完了（12月）</li> <li>開発許可申請事前協議（随時）</li> <li>実施設計業務委託契約（R6年度へ繰越明許）</li> </ul>
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	

## 市長マニフェスト取組状況報告書

目標	5	人が集まる元気なまち 【地域資源を最大限生かし、まちの活力につなげる】			
提案	8	再生可能エネルギーの普及を推進し、エネルギーの地産地消を進めます			
具体的な政策内容	太陽光発電設備の設置、企業の再エネ推進と社用車のEV化、バイオマスエネルギーの活用、ゼロエネハウス導入促進に取り組みます。				
担当課	環境政策課・産業政策課・森林課	SDGs			
評価指標 (KPI)	再生可能エネルギーの推進による年間CO2削減量 (千t-CO2/年)				
当初現状値	-10.5【令和3年度末】				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値		千t-CO2/年 -13.5	千t-CO2/年 -16.5	千t-CO2/年 -19.5	千t-CO2/年 -22.5
実績値		千t-CO2/年 -13.7	千t-CO2/年 -15.5	—	—
実施内容	既存補助制度の活用の推進	計画			
		実績			
	調査・研究等	計画			
		実績			
	支援策の検討	計画			
		実績			
	支援策の実施	計画			
		実績			
	計画				
	実績				
実施内容に対応する具体的な内容	一般家屋や企業社屋等への再生可能エネルギー発電設備の設置を推進するため、国・県・市が行っている既存補助制度の活用方法をHP等で周知していく。また、他の都道府県や市町村が独自で行っている補助制度の調査を行い、本市において再生可能エネルギー発電設備の設置を加速させることを目的とした新たな補助制度を令和6年度から令和7年度までの時限補助として構築し、再生可能エネルギーの普及を促進する。				

実施年度		進捗状況	実績・実施した取組内容
令和4年度	上半期	順調	市HPなどを活用し、市民へ周知したことにより、住宅用地球温暖化対策設備促進補助金の本年度分は交付済みであるとともに、他の事例を参考に新たな補助金の検討を開始している。また、民間事業者が間伐材等の未利用材などを活用した木質バイオマス発電所の設置を検討していることから、事業開始に向けて各種手続きなどの助言をしている。
	下半期	順調	電気自動車等や充電する設備を新たに設置し、災害時に地域への協力を行う事業者に対して、補助を行うため、新たな補助金を予算化。今後は、一般家屋のZEH導入への促進に向けた検討を行っていく。
令和5年度	上半期	順調	事業者用電気自動車導入補助金を開始した。また、昨年からの事業検討を進めていた民間事業者による木質バイオマス発電所も国のFIT認定を取得し、事業開始に向け動き出した。今後は、地域におけるCO2削減の協力への呼びかけ等を進めていく。
	下半期	ほぼ順調	家庭用省エネ家電製品買換え促進補助金や小規模事業者省エネルギー設備更新支援補助金を実施し、CO2の削減に努めた。民間事業者による木質バイオマス発電所については、国のFIT認定を受け、事業開始に向け施設建築の調整を進めている。今後は、事業開始に向けた各種手続きなどの相談、助言、協力等を進めていく。
令和6年度	上半期		
	下半期		
令和7年度	上半期		
	下半期		
総括			
評価判定		評価コメント	



令和6年6月27日

## 令和7年度導入

### 新城市中学校 新制服が決定しました。

令和5年11月、新制服導入を目指し、検討を開始しました。令和6年1月からは、市内6校の中学生、保護者を加えた拡大制服検討委員会で検討を重ね、このほど、令和7年4月導入の新制服が決定しました。

#### 記

##### ○ 説明事項

#### 1 中学生が中心となり、スカート、スラックスの柄、リボン、ネクタイを決定しました。

《選定理由・柄に託した生徒たちの思い》

ボトム（スカート、スラックス）のベースカラーは、ジャケットとの落ち着いたカラーの組み合わせで、穏やかさや落ち着いた印象を与えるコーディネートを意識しました。

新城桜淵公園の桜をイメージさせ、春を華やかに彩るさくらいろを差し色にすることで、未来へ花開く若い力を表現。青系のラインは清流豊川の澄んだ勢いのある力と、爽やかさをイメージさせる色使いとなっています。

#### 2 公認アイテム（生徒が着用するもの）を決めました。

市の公認アイテムとして、ジャケット、ボタン（オリジナル）、スラックス、スカート、ネクタイ、リボンを決定。この公認アイテムのほかに、セーター（白、紺の無地）、各校のポロシャツ、カッターシャツなど各学校の推奨アイテムを各学校で決定し、公認アイテム、推奨アイテムを着用する。

#### 3 生徒・保護者が選択をして着用します。

公認アイテムの中で、全生徒が着用するものはスラックス、スカートだけ。あとは、生徒・保護者が選択をし自由に着こなす形をとる。入学式や卒業式でも生徒全員が同じ服装で臨むことはないことを、市内中学校長とも確認済み。『Sakuragi Uniform ～美しく咲き 夢に向かって舞い上がれ』のキャッチコピー（中学生考案）を使いながら、広報チラシでバリエーションを示したり、常設展示コーナーを設けたり、今後、広報活動に力を入れる。

#### 【問合せ先】

教育部学校教育課 課長：中嶋 担当：中嶋

電話：0536-23-7607

FAX：0536-23-8388

Eメール：shinky3@city.shinshiro.lg.jp

自分たちで  
着方を選べる!  
自由自在!



SK, K, S, R



J, SL, K, N



J, SK, K, R

コーディネート 例

- 【アイテム・略記号】  
 J: ジャケット  
 SL: スラックス  
 SK: スカート  
 K: カッターシャツ  
 P: ポロシャツ  
 S: セーター  
 N: ネクタイ  
 R: リボン



SL, P



SL, P



SL, K, S, N



J, SL, K, N



SL, K



SL, K



SK, P

コーディネート 例



SK, S, P



SL, S, P



SK, K, R



SL, K, N



SK, K, S, N



SL, K, N



SL, K, S, N



J, SL, P



J, SL, P

ジャケット、スカート、  
スラックス、ネクタイ、  
リボン、ボタンは、  
すべて、拡大制服検討  
委員会（各中学校有志  
生徒、保護者）で話し合  
って、決定しました。



令和 6 年 6 月 2 7 日

令和 6 年 6 月期 期末・勤勉手当支給状況について

令和 6 年 6 月期の期末勤勉手当支給状況については以下のとおりです。

記

1 支給日

令和 6 年 6 月 2 8 日 (金)

2 支給額

	支給月数	支給額	所得税等	差引支給額
市長	1.700月分	1,824,100円	576,849円	1,247,251円
副市長	1.700月分	1,910,375円	598,530円	1,311,845円
教育長	1.700月分	1,676,200円	510,490円	1,165,710円
議長	1.700月分	1,205,385円	369,209円	836,176円
副議長	1.700月分	1,008,185円	308,807円	699,378円
議員	1.700月分	916,980円	280,870円	636,110円

職員

(再任用・任期付職員を除く一般職平均)

・本年度:	696,039円
・前年度:	687,911円
・対前年度:	+1.2%
・平均年齢:	40歳 3か月

総 支 給

・特別職	人 数 :	3 名
	金 額 :	5,410,675 円
・議 員	人 数 :	18 名
	金 額 :	16,885,250 円
・一般職	人 数 :	733 名
(再任用・任期付職員を含む)	金 額 :	482,568,727 円

【問合せ先】

企画部秘書人事課 課長： 塩澤 担当：鈴木

電話：0536-23-7619

FAX：0536-23-8388

Eメール：jinji@city.shinshiro.lg.jp



令和 6年6月27日

令和6年6月期 会計年度任用職員期末・勤勉手当支給状況について

令和6年6月期 会計年度任用職員期末・勤勉手当支給状況については以下のとおりです。

記

1 支給日

令和6年6月28日（金）

2 支給額

会計年度任用職員職員 平 均	・本年度：	322,484円
	・前年度：	176,928円
	・対前年度：	+82.3%

総 支 給

人 数：	232名
金 額：	74,816,345円

地方自治法の改正により、令和6年度から会計年度任用職員に勤勉手当を支給。

【問合せ先】

企画部秘書人事課 課長：塩澤 担当：鈴木

電話：0536-23-7619

FAX：0536-23-8388

Eメール：jinji@city.shinshiro.lg.jp



令和 6年 6月27日

## 新城市制20周年記念 ロゴマーク・キャッチフレーズ募集

新城市は令和7年10月1日に市制施行20周年を迎えます。これを機に、市内外へ広くPRするため、「新城市制20周年」をイメージしたロゴマーク、および長期的に使用できるキャッチフレーズを募集します。

### 記

#### 1 応募資格

- (1) ロゴマーク・・・市内、市外在住を問わず、どなたでも応募できます。
- (2) キャッチフレーズ・・・市内在住の方のみ応募できます。

#### 2 応募数

各1人1点まで

#### 3 募集期間

令和6年7月1日(月)～令和6年9月30日(月)午後5時まで(必着)

#### 4 応募方法

市ホームページより専用の応募用紙をダウンロードし、必要事項をご記入の上、郵送、持参または電子メールで応募してください。なお、応募用紙は本庁秘書人事課秘書係、各総合支所地域課でも配布しています。

#### 5 結果発表

採用作品に選ばれた場合は、直接本人に通知するとともに、広報しんしろや市ホームページで発表します。

#### 6 賞

採用された方には賞金を贈呈します。

- (1) ロゴマーク・・・採用数1点 賞金1万円
- (2) キャッチフレーズ・・・採用数1点 賞金1万円

#### 【問合せ先】

企画部秘書人事課 参事：戸村

電話：0536-23-7618

FAX：0536-23-2002

Eメール：hishojinji@city.shinshiro.lg.jp

# 新城市制20周年記念ロゴマーク・キャッチフレーズ募集要項

## 1. 趣旨

新城市は令和7年10月1日に市制施行20周年を迎えます。

これを機に、市内外へ広くPRするとともに、子どもを中心にして、市民の皆様と一緒に未来へ煌めいていきたいという思いから、「子どもと煌めく」をテーマに掲げ、本市の魅力を発信するきっかけとなるよう「新城市制20周年」をイメージしたロゴマーク、及び長期的に使用できるキャッチフレーズを募集します。

## 2. デザイン要件

### (1) 20周年記念ロゴマーク

- ①新城市をイメージできるもの
- ②市制20周年であることを印象付けるもの
- ③使用する色は自由（ただし、白黒・単色での使用も考慮してください）

### (2) 20周年記念キャッチフレーズ

- ①20周年記念事業のテーマ「子どもと煌めく」に沿ったフレーズで簡潔で誰にでも分かりやすく、新城への思いを印象的に表現したもの。
- ②20文字以内を目安としてください。
- ③漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字の使用が可能です。ただし、一般的なパソコンで表示することが困難な文字の使用は不可とします。

## 3. 募集期限

令和6年9月30日（月）午後5時まで（必着）

## 4. 募集資格・作品数

### (1) 20周年記念ロゴマーク

- ①どなたでもご応募いただけます。  
※市内、市外、プロ・アマの別は問いません。
- ②応募数は1人1点とします。

### (2) 20周年記念キャッチフレーズ

- ①応募は市内在住の方に限ります。
- ②応募数は1人1点とします。

## 5. 応募方法

- (1) 応募1作品ごとに別紙の応募用紙に必要事項を記入し、作品と一緒に提出して

ください。応募用紙は市ホームページからダウンロードできます。また、本庁舎秘書人事課秘書係、各総合支所でも配布しています。

①郵送または持参での応募

新城市役所秘書人事課秘書係まで郵送または持参してください。CD-R等電子媒体での提出も可能です。ファックスでの応募は不可です。

宛先：441-1392 愛知県新城市字東入船115番地  
新城市役所秘書人事課 秘書係

②電子メールでの応募

作品のファイル容量は3MB以下とし、画像ファイルの形式はjpeg、gif、またはpngとします。

メール送付先：hishojinji@city.shinshiro.lg.jp

(2) イメージ、コンセプト等の作品の説明をなるべく詳しく応募用紙に記入してください。

## 6. 結果発表

(1) 選考方法

新城市市制施行20周年記念式典検討委員会で選考を行います。

(2) 結果発表

令和6年12月予定。

採用作品に選ばれた場合は、直接本人へ通知するとともに、『広報ほのかしんしろ』やホームページ等で発表します。

## 7. ロゴマーク・キャッチフレーズの使途

市制20周年、及び新城市を広くPRするために活用します。

## 8. 賞

採用された方には、賞金を贈呈します。

ロゴマーク 採用数1点 賞金1万円

キャッチフレーズ 採用数1点 賞金1万円

※受賞者が未成年の場合は、賞金を受け取るにあたり保護者の同意書が必要です。

## 9. 応募にあたっての留意事項

(1) 作品は未発表のもので、本募集に応募するために制作されたものとします。

(2) 応募に要する一切の費用は、応募者の負担とします。

(3) 応募いただいたデータ、書類は返却しません。

(4) 受付通知、不採用通知は行いません。また、選考過程のお問い合わせには対応いたしかねますので、ご了承ください。

(5) 作品の送付またはメール送信中の事故や障害により、作品が届かない場合やデ

ータファイルが開けない等の問題が発生した場合、本市では一切の責任を負いません。

- (6) 採用作品に関する一切の権利は新城市に帰属するものとします。また、その使用に関して、採用作品の制作者は著作権人格権を行使しないものとします。
- (7) 応募作品の著作権、使用権等に係る問題が発生した場合には、応募者がその一切の責任を負うものとします。
- (8) 応募者の個人情報には許可なく第三者に開示しません。ただし、採用作品に選ばれた方の氏名等は市のホームページ等で公表します。(匿名を希望する場合は、応募の際に申し出てください。)
- (9) 本募集要項に取り決めのない事項については、主催者の判断により決定します。
- (10) 応募の時点で、本募集要項の記載内容に同意いただいたものとします。
- (11) 作品はアレンジさせていただく場合があります。

## 10. 問合せ先

新城市役所企画部秘書人事課秘書係

〒441-1392 愛知県新城市字東入船115番地

電話 0536-23-7618 (直通)

メール hishojinji@city.shinshiro.lg.jp

新城市制20周年記念ロゴマーク・キャッチフレーズ応募用紙

該当を○で囲んでください

ロゴマーク

キャッチフレーズ

作品（別紙での提出も可）

作品の説明（なるべく詳しくご記入ください）

住 所	〒		
氏 名		年齢	
職業または学校名			
電話番号			
メールアドレス			

※募集の時点で、募集要項の記載内容に同意いただいたものとします。



令和6年6月27日

## 元新城東高等学校用地活用に関するサウンディング型市場調査の実施結果の公表について

令和3年3月をもって閉校した愛知県立新城東高等学校の敷地について、令和5年3月24日に本市が「医療・福祉・健康増進」の分野で活用する方針を公表しました。この方針に基づき、「元愛知県立新城東高等学校用地活用基本構想」を策定しました。

この基本構想を基に学校用地の具体的な活用方針を定めた「基本計画」を今後策定するにあたり、民間事業者等との対話を通して、元愛知県立新城東高等学校用地の土地及び施設の活用並びに市場性の有無などについて幅広く意見、提案を求めることを目的にサウンディング型市場調査を実施しました。対話の結果をとりまとめましたので、その概要を公表します。

### 記

- 1 サウンディング型市場調査の参加者 3団体
- 2 サウンディング型市場調査の実施 令和6年5月14日（火）から  
令和6年5月17日（金）まで
- 3 公表資料 別添のとおり

#### 【問合せ先】

企画部総合政策課 課長：杉下 担当：酒井

電話：0536-23-7696 FAX：0536-23-2002

Eメール：sogoseisaku@city.shinshiro.lg.jp

## 元新城東高等学校用地活用に関するサウンディング型市場調査の実施結果の公表について

### 1 サウンディング型市場調査の概要

令和3年3月31日をもって閉校となった元愛知県立新城東高等学校用地は、国道151号に接し、新東名高速道路の新城インターチェンジからのアクセスも良い広大な土地であり、その活用については本市が積極的に関わる必要があると考えているため、「医療・福祉・健康増進」の分野における活用の検討を進め、令和6年1月に土地活用の基本方針を示した「元愛知県立新城東高等学校用地活用基本構想」を策定しました。

本調査は、基本構想を基に学校用地の具体的な活用方針を定めた「基本計画」を策定するにあたり、民間事業者等との対話を通して、元愛知県立新城東高等学校用地の土地及び施設の活用並びに市場性の有無などについて幅広く意見、提案を求めることを目的としました。対話の結果をとりまとめましたので、その概要を公表します。

### 2 サウンディング型市場調査の実施スケジュール

令和6年3月26日（火）	サウンディング型市場調査実施要綱の公表
令和6年4月15日（月）	現地見学会・説明会の開催
令和6年5月14日（火）～17日（金）	サウンディング型市場調査の実施
令和6年6月27日（木）	サウンディング型市場調査実施結果概要の公表

### 3 サウンディング型市場調査の参加者

- (1) 現地見学会・説明会の参加者：4団体
- (2) サウンディング型市場調査の参加者：3団体

### 4 サウンディング型市場調査の概要

別表のとおり

### 5 サウンディング型市場調査の結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディング型市場調査により、3団体から元愛知県立新城東高等学校用地の活用方法や今後の課題等に関する様々なご意見・ご提案をいただきました。当市としましては、元愛知県立新城東高等学校用地の活用を重要政策の一つとして位置づけています。「医療・福祉・健康増進」の分野における活用を基本方針に据え、具体的な土地活用方法を検討するとともに、土地所有者の愛知県との協議を進めていきます。

今後、学校用地の具体的な活用方針を定めた基本計画を策定するにあたり、各事業者からいただいた意見等を参考にさせていただきます。

別表(サウンディング型市場調査の概要)

項目	提案・意見等
施設提案	・若者から高齢者まで幅広い世代が心身ともに健康になるためのウェルネスづくりが出来る集合施設
	・良い施設があれば利用者は集まるので、中途半端なものではなく、クオリティの高い施設を整備。校舎を宿泊施設とすることで、合宿や大規模な大会も開催でき、親子で宿泊することで、スポーツと観光を兼ねた拠点施設となる
	・体育館・武道場は、現施設をレガシーとして引き継ぎ全天候型運動施設として活用
	・記念庭園は、地域の子どもや高齢者、病院利用者が憩いの場として気軽に利用出来る遊歩道や遊び場を設置
	・野球場は、農協と提携し地元農産物を扱う食品スーパーを設置
	・施設活用案の一つとして、集客力のある体育館やスーパーと市民病院が連携し、健康講座を開催
	・「生活習慣病予防」、「介護予防」、「子どもの運動機会の創出」をはじめとした市民の健康づくり施設
	・ジョギングや健康体操、少年サッカーなどができる施設の設置
	・無理に大型商業施設を設置しても地域とのまちづくりが上手くいかないで、病院に絡めて、ドラッグストアや公園に来る人の飲食機能を持った施設を設置
	<p>・公設民営での運營業務委託を想定</p> <p>新市民病院等及び中央の道路については市の直営</p> <p>新市民病院等及び中央の道路以外を公園や商業施設として官民連携</p> <p>指定管理あるいは商業施設については一般的に定期借地が主流</p>
	・まちづくりを考えたらうで、運動施設や商業施設と共に複合的な施設の一つとして病院を建設した方が良い
	・体育館と武道場をコストを抑えて、改修合築して総合体育館とし、球技や武道、他に新たにレッスンスタジオ、インフォメーション機能設備を設置
	<p>総合体育館について</p> <p>・総合体育館を設けるなら、他の公共施設を廃止してでも立派なものを作ったほうが良い</p> <p>大都市の真似をするのではなく、独自性をもった総合体育館とするべき</p> <p>・全世代対応の屋内プールを組み込む</p> <p>市内全学校のプールを廃止して、冬でも水泳の授業が出来るようにすればメリットもある</p> <p>市民病院と連携し、プールをリハビリ後の運動施設として活用できる</p>
	・住民同士のコミュニティの場
	・喫茶店や本を読むところなど病院に来る人の隙間時間を埋める施設
	・診療行為は介護施設ではできないので、市民病院と連携した介護系の施設
	・健康文化の地域の拠点として、検診を受けやすくするとか相談を受けやすくする環境を整え、本格的な治療になる前の未病段階を促進していく機能を持った施設
	・都市計画公園とせず、どんな子どもでも使えるような遊具を置いたインクルーシブ公園を暫定設置。暫定利用後、具体的提案があれば、遊具を取り除く
	・将来の病院建て替えを見据えて、同じ規模の病院を建てることのできる面積の駐車場を確保
	・新城インターからも近く、立地のポテンシャルが高い
・初期投資は市が行い、市民病院以外の運営を民間で行う	
・市が必要なものを整備し、安価で民間へ貸し出す	

別表(サウンディング型市場調査の概要)

項目		提案・意見等
課題	全般	・民間に出来ること、行政でやるべき事をきちんと整理する
		・民間事業者が施設への初期投資を行うことは、事業収支を考えると難しいのではないか
		・出店希望する民間事業者はスピードを重視するので、早期の方針決定を望む
		・長期間の施設管理や運営は採算がとれるのか不安
		・現市民病院が移転した後の土地活用も同時にすすめるべき
	学校施設活用	・近くに県営総合公園があり、運動施設がどこまで受け入れられるのか
		・スポーツ施設は、週末や休日以外の集客が見込めず運営が厳しい
		・部活動の地域移行の拠点として使用する場合は、多岐にわたる部活(運動部だけでなく文化部もある)の指導者の確保など課題も多い
	PFI	・PFIは行政側に財政力がないと厳しい
		・公共も民間もスタート時点で契約内容を固めないで契約締結できないうえに契約期間が15年や30年とかなり長くなり、契約期間中に時代が変わっていくので、臨機応変に時代にあわせていくのが大事
	病院候補地以外の土地活用	・住民福祉に重点を置くか、外から人を呼ぶことに重点を置くのかなど、病院用地以外の余剰地の活用方法を明確に決定する
		・余剰地活用の成功事例は、民間がまず事業地を活用して、残地を公共施設にする事例が多い
		・中途半端な残地にならない土地活用を考える
		・市民病院以外の用地を民間で分割活用となると、民間事業者で使いきれなかった部分が活用残地となり、その後の活用が困難になると思われる
	アクセス	・敷地の入口については視認性を高める必要がある
		・学校用地内通路の公道化は、学校用地活用の選択肢を広げるうえでもとても重要なポイントである
		・敷地の活用だけでなく、広い敷地に合わせたアクセス道路についても考える必要がある



令和6年6月27日

## 高速乗合バス「山の湊号」夏得キャンペーンについて

このことについて、新城市と名古屋市・長久手市を結ぶ高速バス「山の湊号」について名古屋圏からの誘客を図るとともに、名古屋圏への通勤・通学、通院、買い物などおでかけのための移動手段として利用促進を図るため以下のとおり高速乗合バス「山の湊号」の運賃助成キャンペーンを実施します。

### 記

1. 期間 令和6年7月1日（月）から令和6年9月30日（月）まで  
※助成券は上記期間中のみ利用可能。
2. 対象者 高速乗合バス「山の湊号」キャンペーン助成券をお持ちの方
3. 運賃 1乗車500円 ※回数券との併用不可  
(通常1乗車1,000円の運賃に対して新城市が500円を助成。)  
※小人及び身障者の方は、運賃が500円のため、助成対象外
4. 助成券交付場所  
新城市役所市民協働部公共交通対策課、鳳来・作手総合支所地域課、  
設楽原歴史資料館、長篠城址史跡保存館、豊鉄バス(株)新城営業所、  
新城図書館、新城まちなみ情報センター、山吉田ふれあい交通運営協議会、  
奥三河観光協議会事務局（道の駅もつくる新城内）、奥三河蒸留所、  
リニモ藤が丘駅、藤が丘中央商店街振興組合事務局、  
長久手市観光交流協会事務局
5. 利用方法  
高速乗合バス「山の湊号」乗車時に、現金500円及び助成券を乗務員に手渡す。
6. チラシ及び助成券（見本） 別紙のとおり
7. その他 助成券は、令和6年6月28日（金）から交付開始。

### 【問合せ先】

市民協働部公共交通対策課 課長：貝崎 担当：小倉

電話：0536-22-9901

FAX：0536-23-2002

Eメール：kotsu@city.shinshiro.lg.jp

高速バス新城名古屋藤が丘線「山の湊号」



# 夏得 キャンペーン

～この夏一番の思い出をバスでお得に～



片道運賃が7.1から9.30まで助成券で実質

1,000円⇒500円

【利用方法】バスに乗車する際に、助成券と500円を乗務員に渡して下さい。  
期間中は混雑が想定されるため、席の事前予約をお願いします。

【対象】高速乗合バス「山の湊号」キャンペーン助成券をお持ちの方  
※対象外の方 小人・身障者の方（通常の利用料金が500円のため）

【券の交付場所】公共交通対策課 鳳来・作手総合支所地域課 設楽原歴史資料館 長篠城址史跡保存館  
新城図書館 まちなみ情報センター 豊鉄バス(株)新城営業所 奥三河蒸留所  
奥三河観光協議会（道の駅もつくる新城内） 山吉田ふれあい交通運営協議会  
藤が丘中央商店街振興組合 リニモ藤が丘駅 長久手市観光交流協会

お問合せ先：新城市役所公共交通対策課  
バスの予約：豊鉄バス(株)高速バス専用ダイヤル

電話 0536-22-9901(8:30～17:15)  
電話 0532-44-8412(9:00～17:00)



高速乗合バス「山の湊号」  
夏得助成券  
キャンペーン



この助成券を持っている方は500円でバスに乗車することができます！  
【利用方法】  
バス乗車時に、運転手にこの助成券と500円を渡してください。  
(おつりの無いようお願いします。) ※往復で利用する場合は助成券が2枚必要です。  
有効期間:2024年7月1日(月)から9月30日(月)まで

※回数券との併用はできません。  
※利用の際にはおつりのないようにご準備ください。

発行元  
新城市市民協働部公共交通対策課  
電話 0536-22-9901

発行者 新城市長



令和 6年 6月 27日

## 豊橋新城スマートIC(仮称)周辺地域活性化構想の策定に係るパブリックコメントの結果について

令和6年4月16日(火)から令和6年5月17日(金)までの間、豊橋新城スマートIC(仮称)周辺地域活性化構想(案)に対する意見募集を行った結果については、下記のとおりです。

### 記

- 1 募集結果の概要 豊橋新城スマートIC(仮称)周辺地域活性化構想(案)に対する意見募集を行った結果、3名の方から意見が提出されました。
- 2 意見提出の内訳 直接持込み 1人 4件  
電子メール 2人 3件
- 3 提出された意見と新城市の考え方 別添のとおり
- 4 その他 豊橋新城スマートIC(仮称)周辺地域活性化構想については、いただいたご意見をもとに修正を加え、令和6年7月1日策定を予定しています。

#### 【問合せ先】

建設部土木課道路政策推進室長：権田

電話：0536-22-9919

FAX：0536-23-7047

Eメール：doroseisaku@city.shinshiro.lg.jp

豊橋新城スマートIC（仮称）周辺地域活性化構想（案）パブリックコメント実施結果

	ページ	提出された意見	市の考え方
1	P. 3	<p>2 地域振興事業の検討範囲について</p> <p>(1) 検討項目</p> <p>ア 地域振興策の検討範囲は、八名地区としながら、小中学校の周辺区域を含めないこととなっていますが、地区計画策定の必要性を認めながら含めないということは不自然と思います。</p> <p>イ 20 ページ 8 今この振興策の方向性について (1) 地域振興の方向性 22 ページ⑥道路等安全対策はまさに歩行者学童の立場からいっても学校周辺区域を入れるといいと思います。</p> <p>(2) 検討範囲</p> <p>検討範囲は、スマートIC 出入口から概ね2km 以内の市内区域とありますが、(1) アからいっても八名地区としています。よって八名地区全体とされた方がいいと思います。</p>	<p>本構想は、スマートIC の開通効果を最大限発揮できる区域として、スマートIC から概ね2 km 以内を検討範囲としています。</p>
2	P. 4 P. 5 P. 10 P. 14 P. 20	<p>現状は、スマートインター周辺の人口は少ないですが、アウトレットモールなどの大型商業施設が出来れば、スマートインターが開通することで、遠方からも集客が出来ると思います。</p> <p>また、八名地域には、日常生活に必要なスーパーやドラッグストアなどの中小商業施設が全くないので、そのような中小商業施設もあったほうが便利だと感じています。</p> <p>このような商業施設がないことで不便さを感じ、特に若い世代の人々が新城市から流出してしまい、人口の減少要因になりうると思います。</p> <p>実際に市民アンケートの集計結果を見ても、商業振興の意見が一番多いです。他の意見としては、定住促進とありますが、そのためにはやはり商業施設が充実していることが不可欠です。</p> <p>商業振興による集客をきっかけに、スマートインター周辺の交流人口の増加を目指していきたいと私は考えています。八名地域の振興策として、積極的に商業施設の企業誘致を行っていただきたいです。</p>	<p>ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。</p>
3	P. 4 ～6	<p>富岡西部における大規模土地利用構想と耕作放棄地問題への対策</p> <p>1. 総合的な提案概要</p> <p>新城市の地域活性化を目指し、富岡西部における大規模土地利用構想を提案します。この提案では、豊橋新城スマートインターチェンジ（IC）の開通に伴い、今後10年間で田畑が耕作放棄地になる前に大規模な土地利用を進めることを目指します。</p> <p>2. 現在の課題</p> <p>1. 耕作放棄地の増加</p> <p>問題点：現在の団塊の世代が引退することで、富岡西部の田畑が耕作放棄地になる懸念が高まっています。団塊の世代が引退すると、農業従事者が減少し、結果として広範囲にわたる耕作放棄地が発生する可能性があります。</p> <p>解決策：スマートICの開通前に、耕作放棄地の利用を促進するための土地利用計画を策定し、地域</p>	<p>ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。</p>

		<p>の農業資源を有効活用します。</p> <p>2. 大規模な土地利用の必要性 問題点：富岡西部における大規模な土地利用が必要であり、適切な計画が求められます。 解決策：企業団地や農業関連施設を含む総合的な土地利用計画を策定し、持続可能な開発を進めます。</p> <p>3. 提案の詳細 場所：富岡西部 目的：大規模な土地利用を通じて、産業振興と地域活性化を図る。</p> <p>段階的な計画 第一段階：調査と計画策定（0-6ヶ月） 土地調査：富岡西部の土地利用可能性を詳細に調査し、耕作放棄地の現状と将来予測を把握する。 ニーズ分析：市民アンケートや企業ヒアリングを実施し、地域と企業のニーズを明確化。 計画策定：調査結果を基に、土地利用計画を策定し、関連する法規制の確認と調整を行う。</p>	
4	P. 8	<p>5 地域振興策の提案 (1) 新城市庁内プロジェクトチーム（令和4年度）となっており、課題があがっていますが、今年令和6年で2年を経過しています。スマートIC整備後の在り方と思慮しますが、現在八名地区におかれた現状についてコメントします。（進行形かもしれません。）私が、新城駅において富岡ふるさと会館まで行こうとします。朝6時55分バスに乗り、帰りは12時52分で帰ります。この間ありません。移動困難者にとってつらいことです。ここでコメントします。</p> <p>新城市中心市街地から離れ、医療施設も少なく、日常生活に必要な商店街は少なく、生鮮食料品店もなく、買い物するにも異動困難者にとっては、円滑な交通手段はありません。公共交通のバスの本数も少なく、新城市中心市街地へいけません。移動困難者に、デマンド（予約があった場合指定の停留所間を運行し、自宅までではない）デマンド型乗合タクシーで情報通信技術（ICT）を活用した配車システムを導入し、予約状況に応じた効率的な運行する。デマンド型はいろいろな型があると思いますが、八名地区にあった方法で運営します。八名地区の現状をスマートIC関連の環境整備を見据えて計画していただきたい。</p>	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
5	P. 10 ～13	<p>市民アンケートと企業アンケートの間で見られる意見の食い違いは、両者の異なる利害関係と目標に起因する可能性があります。この溝を埋める政策が必要不可欠です。</p> <p>市民の視点 市民が大規模商業施設の設立に関心を持つ主な理由は、以下の通りです。</p> <p>新城市は田舎であるため、大規模商業施設が無い、そのようなことから、多種多様なショッピングオプションとサービスを一箇所で提供し、市民の日常生活を豊かにしたという考え方がありとされます。 雇用機会の創出：が考えられます。新しい商業施設は地域に多くの雇用を創出し、経済的利益をもたら</p>	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

すと期待されます。

レジャーとエンターテインメント:について、商業施設は買い物だけでなく、エンターテインメントや食事の場としても機能し、市民の生活の質が向上すると思っているからです。

#### 企業の視点

一方で、企業が大規模商業施設の建設に消極的な理由は、以下の点に集約されるかもしれません。

投資とリスクについて、田舎に大規模商業施設の建設は莫大な初期投資を必要とし、長期的な収益の保証が難しい場合があります。企業はリターンの見込みが明確でないプロジェクトに慎重になりがちです。近隣市に大規模商業施設が多くあり車で1時間から2時間程度で十分な施設があるため、わざわざこの土地に建設する必要がないと判断します。

市場飽和の懸念となります。既に多くの商業施設が存在する市場に新たな施設を導入することは、既存のビジネスとの競争を引き起こし、収益分割を招く恐れがあります。

#### 総合的な見解

市民と企業の間で見られるこのような意見の食い違いは、直接的なニーズと期待の違いから生じます。市民は日常生活の利便性と質の向上を重視する一方で、企業は経済的リターンと市場リスクを重視します。このギャップを埋めるためには、両者のニーズを満たすような創造的で実行可能な解決策を見出す必要があります。例えば、商業施設の代わりにマルチユースの施設を考慮することで、商業活動と公共サービスを組み合わせ、より広範な利益を生むことが必要です。

総合的に考えると「地域共生型の企業団地開発」が一番適していると考えられます。

問題は単なる企業誘致では意味がありません。市民ニーズを網羅した企業誘致が必要となります。

参入してもらおう企業は製菓等の工場や企業内部を見学できるような工夫ある企業の両方が必要となります。

そのような企業が1つや2ではなく、5社程度集まり飲食からレジャー、工場見学ができる一体型の企業団地とします。多くの方は、遠方から社会見学や製菓工場の見学や、団地内に工夫したレストランを用意し長時間滞在ができるようにする。また、企業でアスレチック等のレジャー遊具を自社のブランドとして制作できるのであれば、合わせてそのような施設も併設する必要があります。近隣市の豊橋市は、道の駅の建設を検討していると聞きました。同じようなコンセプトでは大規模商業施設で客の取り合いになってしまいます。半日は道の駅であり半日は新城市の企業団地エンターテインメント施設という、循環ができると良いかと思えます。両者は非常に近い位置関係で建設する必要があると考えます。また、製菓工場ではなく、地元の農産物を使った食品加工業者でも良いかと思えます。食品加工業者で加工した新鮮な地元の農産物をそのまま、レストランで提供することで、販売促進につながると考えます。道の駅に対抗したプランニングとなり

		<p>ます。道の駅では地元の農産物を販売することが多いですが、加工してそのまま提供するパターンは少ないと考えます。これを、各企業が個別で行うことは分散した投資と、施設も分散し規模も小さくなりがちです。複数社でエンターテイメント形式で施設を建設することが良いかと思います。こうすることで市民ニーズと企業ニーズの両方をそれなりに展開できると思います。</p>	
6	P. 13 ～19	<p>7 地域振興策の検討結果</p> <p>ア 健康増進事業 八名地区の自然環境がたくさんあります。各地に多くの例があります。</p> <p>イ 健康増進事業 富岡ふるさと会館を基地として集客します。神奈川県<small>の</small>未病事業があります。</p> <p>ウ ア、イを利用して、提案事業③に関心があります。スーパー銭湯です。公衆浴場と理解しますが、温泉でなく温泉の名称でトロン温泉があります。新たな温泉の必要なためのボーリングなど必要なく、トロン温泉として、全国に運営しています。温泉として効能を厚生労働省は認めています。この施設をア、イの事業とつなぐといいと思います。</p> <p>エ 商業施設の誘致、大型商業施設でなく。 コンビニに特化した施設、地産地消農産物、生鮮食料品、日用品、食堂、調剤薬局薬剤師（情報入手し、類似あれば視察、なければ愛知県と話し合いにより内閣府へ構造改革特区提案）</p>	<p>ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。</p>
7	P. 20 ～22	<p>今後の振興策の方向性について</p> <p>22 ページ⑥については、すでに新城市予算執行の中に組み込まれ、事業進捗していると思慮します。⑥について気になるのは、県要望ですが、事業主体を市、地区としながら、県のみ該当するのかの感がします。市独自の管理下の施設もあると思慮します。よって進行管理の表は、市も加えるといいと思います。</p>	<p>市の取組をご指摘のとおり修正しました。</p>

作成現在日：令和6年6月21日

日	曜日	時 間	行 事	場 所		
1	月	9 : 00	政策検討会議	新城	本庁舎	政策会議室
		14 : 00	一般国道151号改良促進期成同盟会 総会	新城	市民センターほうらい	
2	火	15 : 00	豊川用水次世代農業推進協議会設立総会	豊橋	ライフポートとよはし	
3	水					
4	木	13 : 00	東三河市町村長会議	豊橋	豊橋市役所	
		15 : 00	東三河縦貫道路建設促進期成同盟会要望会	豊橋	東三河県庁	
		16 : 00	国道151号一宮バイパス事業促進期成同盟会要望会	豊橋	東三河県庁	
5	金	13 : 00	政策検討プロジェクトキックオフ会議	新城	東庁舎	会議室2
		14 : 30	第1回新城市青少年問題協議会	新城	本庁舎	4-1会議室
6	土					
7	日	13 : 00	愛知県文化協会連合会東三河部芸能大会	新城	新城文化会館	
8	月	12 : 00	第2回五日会	新城	本庁舎	4階会議室
		14 : 30	奥三河観光協議会総会	新城	本庁舎	政策会議室
9	火	9 : 00	暴力追放新城市民会議 理事会、通常総会	新城	新城文化会館	
		14 : 00	愛知県治水砂防協会 定例理事会、通常総会	名古屋	アイリス愛知	
10	水					
11	木	13 : 45	東三河縦貫道路建設促進期成同盟 要望会	名古屋	中部地方整備局	
12	金	10 : 30	第13回中部環境先進5市(TASKI)サミットin多治見	多治見	パロー文化ホール	
13	土	10 : 00	共同調理場 竣工式及び竣工報告会	新城	共同調理場内会場	
14	日					
15	月	13 : 00	つながる地域と若者の輪	新城	市内中学校	
16	火	9 : 00	市政経営会議	新城	本庁舎	政策会議室
		14 : 00	国道151号一宮バイパス建設促進期成同盟会 要望会	名古屋	中部地方整備局	
17	水	10 : 00	全国市長会 各委員会、理事・評議員合同会議	東京	JA共済ビル他	
18	木	16 : 00	東三河五市議会議長会議	新城	東庁舎	委員会室
		17 : 30	新城自然エネルギー・奥三河ビジョンフォーラム合同例会	新城	新城市商工会館	
19	金	13 : 30	奥三河幹線道路(北設井桁道路等)整備促進協議会他総会	設楽	設楽町役場	
		20 : 00	第69回愛知県消防操法大会出場激励会	新城	新城市消防防災センター	
20	土	11 : 00	第69回愛知県消防操法大会	日進	愛知学院大学	
		15 : 00	第69回愛知県消防操法大会出場結果報告会	新城	新城市消防防災センター	
21	日	10 : 00	新城有教館高等学校作手校舎同窓会総会	新城	新城有教館高校作手校舎	
22	月	9 : 30	市長と話そう！ふれあいトーク	新城	市民センターほうらい	
23	火	9 : 00	市政経営会議	新城	本庁舎	政策会議室
24	水	10 : 30	三遠南信道路建設促進期成同盟会総会、要望活動	東京	JA共済ビル他	
25	木	9 : 00	定例議員報告会	新城	東庁舎	委員会室
		10 : 30	定例記者懇談会	新城	本庁舎	政策会議室
26	金					
27	土					
28	日					
29	月	9 : 00	9月補正予算査定	新城	本庁舎	政策会議室
30	火	9 : 00	部長会議	新城	本庁舎	政策会議室
31	水					